

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1ー⑤ 那覇市伝統工芸ブランド確立事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第3章－1－(5)－ウ			
担当部署名	経済観光部 商工農水課		事業実施 (予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	文化コンテンツ産業の振興		
						Ⅲ－1－(1)		
事業内容	伝統的工芸品を国内外にアピールして那覇発世界ブランドとして確立させ、その伝統工芸品の唯一の販売店及び体験工房である那覇市伝統工芸館を観光施設として整備し機能強化を図る。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	30,142					
		(b) 予算現額	30,142					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	－					
		A. 計 (b+d)	30,142	0				
	B. 執行済額		30,098					
	うち交付金充当額		24,078					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		99.9%					
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度	
	伝統工芸品のブランディング強化・PR	目 標	(伝統工芸品のブランディング強化・PR)	()	()	()	()	
		実 績	伝統工芸品のブランディング強化・PR					
	那覇市伝統工芸館特別展示室の改築	目 標	(特別展示室の改築)	()	()	()	()	
		実 績	特別展示室の改築					
	那覇市伝統工芸館販売所POSレジの購入	目 標	(POSレジの購入)	()	()	()	()	
		実 績	POSレジの購入					
	琉球ガラス体験工房の窯の機能強化	目 標	(琉球ガラス体験工房の窯の機能強化)	()	()	()	()	
		実 績	琉球ガラス体験工房の窯の機能強化					
達成状況説明	那覇市伝統工芸館の特別展示室を改築し、工芸品をより魅力的に展示することによりブランド力を向上する事ができた。琉球ガラス体験工房の窯を機能強化し、体験を希望する観光客等の受入環境を整えることができた。販売所にPOSレジを導入したので、ニーズ調査等を行いブランド商品開発に役立てたい。伝統工芸品のブランディング強化・PRでは、ブランドカラーを朱色に設定し、ショップバッグ等を作成した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)	
	1. 伝統工芸品のブランディング強化 2. 那覇市伝統工芸館特別展示室受入整備 3. 琉球ガラス体験の受入整備	目 標	()	(3指標の実施)	()	()	()	
		実 績		3指標の実施				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	那覇市伝統工芸館特別展示室を改築することにより、施設利用者の受入体制を整備することができた。琉球ガラス体験工房の窯の機能強化をすることにより、体験希望者の受入体制を整備することができた。那覇市の伝統工芸品のブランディング強化については、H24年度にブランドカラーは決定したので、H25年度以降さらなる強化を図っていききたい。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	那覇市伝統工芸館特別展示室を改築することにより、ハード面の整備は完了したが、特別展示室に展示する工芸品の充実や企画展の開催等ソフト面の課題が浮上した。 那覇市の伝統工芸品のブランディング強化・PRについては、ブランドカラーを設定したもの、ブランド確立には及ばずPRも不足していた。 販売所にPOSレジを導入し、購入者の年代や性別・人種等のマーケティングができるよう設定した。	那覇市伝統工芸館特別展示室のソフト面の充実を図る。 ブランドコンセプトの確立を図り、那覇市の伝統工芸品及び伝統工芸館を発信していく。 POSレジを利用してマーケティングを行う。
今後の取り組み方針		
那覇市伝統工芸館に学芸員を配置し企画展を開催する等、ソフト面を充実させていく。 ブランドコンセプトに沿った販売所の改築、新商品の開発等を行っていく。 POSレジでマーケティングを行い、消費者のニーズを把握する。		

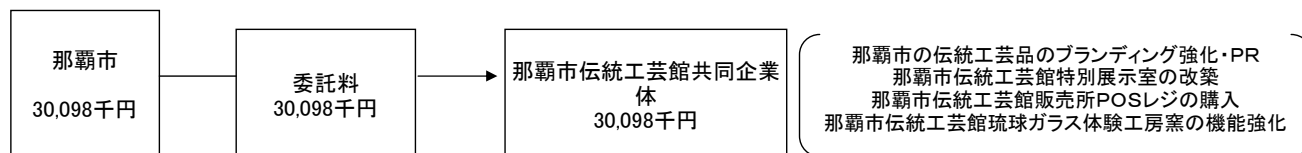
今後の取り組み方針

那覇市伝統工芸館に学芸員を配置し企画展を開催する等、ソフト面を充実させていく。
ブランドコンセプトに沿った販売所の改築、新商品の開発等を行っていく。
POSレジでマーケティングを行い、消費者のニーズを把握する。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額		交付対象 外経費
		市町村 負担金		
30,098	30,098	24,078	6,020	



資金の 流れ、 費目・ 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なもののなか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑥		常設展音声ガイダンス事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)		
担当部課名	市民文化部 文化財課 (※平成24年度中/市民文化部 博物館)		事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	壺屋焼物博物館を観光施設としてグレードアップするため、常設展示コーナーの案内を外国人観光客に対応した多言語音声システムに整備する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,780					
		(b) 予算現額	3,780					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	3,780	0				
	B. 執行済額		3,623					
	うち交付金充当額		2,898					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		95.8%					
予算の状況の説明		・不要額157千円は、業務委託料の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	壺屋焼物博物館常設展音声ガイダンスシステムの整備	目 標	(音声ガイダンスシステム整備)	()	()	()		
		実 績	音声ガイダンスシステム整備完了					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	常設展示12箇所において、ipadを使用した6言語(日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語、沖縄方言)による音声、文字及び画像解説が行えるガイダンスシステムを構築し、展示案内サービスを平成25年3月末から実施している。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(H23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(H28年度)	
	壺屋焼物博物館常設展音声ガイダンスシステムの整備	目 標	(入場者数 17,131人)	(音声ガイダンスシステム整備)	()	()	(入場者数 21,900人)	
		実 績		音声ガイダンスシステム整備完了				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	音声ガイダンス利用者からは概ね好評な意見を得ており、壺屋焼の理解を深めるとともに本県伝統文化の情報発信に活用できている。今後は、壺屋焼物博物館入館者数の増加に向けて、音声ガイダンスシステムの利用促進を図る必要がある。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・ipad本体の盗難防止策として、貸出し時に住所、氏名、連絡先及び免許証またはパスポートのナンバーを記入してもらっているが、煩わしがったり個人情報の記入を拒む外国人観光客も多い。 ・音声ガイドシステムの効果的な活用方法及び利用促進を図る。	・個人情報保護対策の徹底及び貸出し手続きの簡素化を図る必要がある。 ・外国人観光客の誘客への取組みを強化し、音声ガイドシステムの利用者数を増加させる。
今後の取り組み方針		
・貸出しの際は、必要最低限な個人情報の記入にとどめ、統計用データ収集後は速やかに裁断・破棄する。 ・音声ガイドシステム利用者の声を分析し、活用の利便性を図る。 ・観光協会や沖縄コンベンションビューロー等との連携により、外国人観光客の来館を促す。 ・マスコミやホームページ等の情報提供媒体を活用し、音声ガイドシステム導入についての継続した情報提供を行い周知を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
3,623	3,623	2,898	725	0

那覇市
3,623千円

委託料
3,623千円

株式会社りゅうせき
3,623千円

- ・音声ガイドシステムコンテンツ作成業務
- ・言語翻訳及びナレーション録音業務
- ・音声ガイドシステム稼働に必要な機器等の調達及び環境整備

資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託業者は一般競争入札において決定し、企業組織規模、実績、知識等においても妥当であったと考える。 ○予算規模・費目・使途については事業目的達成の観点から必要かつ適正であり、支出等に関する手続き及び書類も適切に処理している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑨	プラネタリウム番組開発事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 1(5) ウ		
担当部署名	生涯学習部 中央公民館	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化コンテンツ産業の振興			
Ⅲ-1-(1)								
事業内容	観光施設として、牧志駅前ほしぞら公民館のプラネタリウムをグレードアップするため、番組制作システムを導入し、集客力のある番組を委託制作する。							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	31,398					
		(b) 予算現額	31,398					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	31,398	0				
	B. 執行済額		30,641					
	うち交付金充当額		24,512					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		97.6%					
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	・プラネタリウム上映番組賃借 ・プラネタリウム上映自主番組開発 ・自主制作システム購入	目 標	（番組4本製作、1本借用）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	番組4本制作、1本借用					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
	達成状況説明	全国的に有名な番組をレンタルし上映することで、プラネタリウムの認知度を上げることができた。委託製作する番組に沖縄の民話や自然風景、うちなーぐちを取り入れることで、那覇市民だけでなく観光客にも強くアピールできる番組に仕上がった。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（22年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	プラネタリウム年間観覧者数：23,000人	目 標	（22,000人）	（23,000人）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		24,000人				
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	宮沢賢治の名作を元にした大ヒット作品「銀河鉄道の夜」を借用、投影する事で、科学や天文になじみのない層にもプラネタリウムに足を運んでもらうことができた。制作委託した番組は沖縄の民話や自然風景を取り入れ、沖縄ならではの番組が完成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	番組自主制作システムを購入したが、番組制作に必要な専門的な技術を職員が習得するのに時間がかかり、現状では十分に使いこなせていない。	メーカーから技術指導を受け技術習得に励み、将来的には職員の手でニュース性のある番組を制作できるようにしたい。
今後の取り組み方針		
継続して番組を委託制作していくとともに、番組自主制作システムを活用して、ニュース性のある短いコンテンツ等は自作できるよう、職員のスキルアップを図る。また、委託制作した番組を多くの市民や観光客に見てもらえるよう、チラシ配布やマスコミへの依頼等、広報活動に力を入れる。		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
30,641	30,641	24,512	6,129	0

```
graph LR
    A[那覇市  
30,641千円] --> B[委託料  
16,380千円]
    A --> C[賃借料  
4,042千円]
    A --> D[印刷製本費  
244千円]
    A --> E[備品購入費  
9,975千円]
    B --> B1[株式会社沖縄映像センター  
13,545千円]
    B --> B2[株式会社五藤光学研究所  
2,835千円]
    C --> C1[株式会社五藤光学研究所  
4,042千円]
    D --> D1[有限会社ダイヤプリント  
89千円]
    D --> D2[有限会社ぺんぎん  
155千円]
    E --> E1[五藤光学研究所  
9,975千円]
```

プラネタリウム番組制作委託業務(3本分)

プラネタリウム番組「ちゅら島星の旅うちなーぐちバージョン」制作委託業務

プラネタリウム番組「銀河鉄道の夜」賃借料

「銀河鉄道の夜」番組パンフレット印刷業務

平成25年度新番組パンフレット印刷業務(4本分)

番組自主制作システムの購入

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	番組内容を重視したため、番組制作の委託先選定はプロポーザル方式でおこなったが、これは妥当だと考える。印刷費は数社から見積書を徴収し最低価格の業者に決定。番組自主制作システムと番組借用は既設のプラネタリウムとの互換性、ソフトウェアの著作権等を考慮し決定したが、妥当だと考える。予算額は見積書等で必要最小限に抑えたので、適正な規模となっている。費目、使途は必要最小限のものに限定し支出した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1ー⑩ 壺屋地区シンボルシーサー整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ			
担当部課名	建設管理部 道路建設課		事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光都市としてのグレードアップを図るため、壺屋焼巨大シーサーをやちむん通りの入り口となる牧志壺屋線の広幅員の歩道部(シンボル広場)に設置し、併せて多言語の観光案内施設を整備する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	16,191					
		(b) 予算現額	16,191					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	16,191	0				
	B. 執行済額		15,687					
	うち交付金充当額		12,549					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		96.9%					
予算の状況の説明		・不要額が504千円発生しているが、シーサー設置工事費の入れ残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施しており適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度	
	・壺屋地区のモニュメントの設置 シンボルシーサー1基	目 標	(1基)	()	()	()	()	
		実 績	1基					
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
達成状況説明	シンボルシーサー(H＝3.6m)設置完了。(平成25年2月9日供用開始)							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	シンボルシーサー音声案内利用回数	目 標	(-)	(1,000回/年)	()	()	()	
		実 績		約3,600回				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	目標を上回った。 ※音声案内を壺屋方言(地域代表者:町民会長)で語ることや、近隣に存在する同様のモニュメントとのコラボ(兄弟シーサーとの噂が。。。)が回数増に繋がったと考えられる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①当該地区へのアクセスの向上 ②地域住民の満足度(愛着など)の向上 ③モニュメントを囲んだ地域イベントの開催	①については、他事業で取り組んでいる道路整備の推進と、併せて、案内板等の充実を図り、アクセスの向上に取り組んでいく。 ②及び③については、地域住民とのまちづくりを協働により進めていく中で取り組み、課題解決に繋げたい。
今後の取り組み方針		
道路整備等による当該地区へのアクセスの向上を図る。		

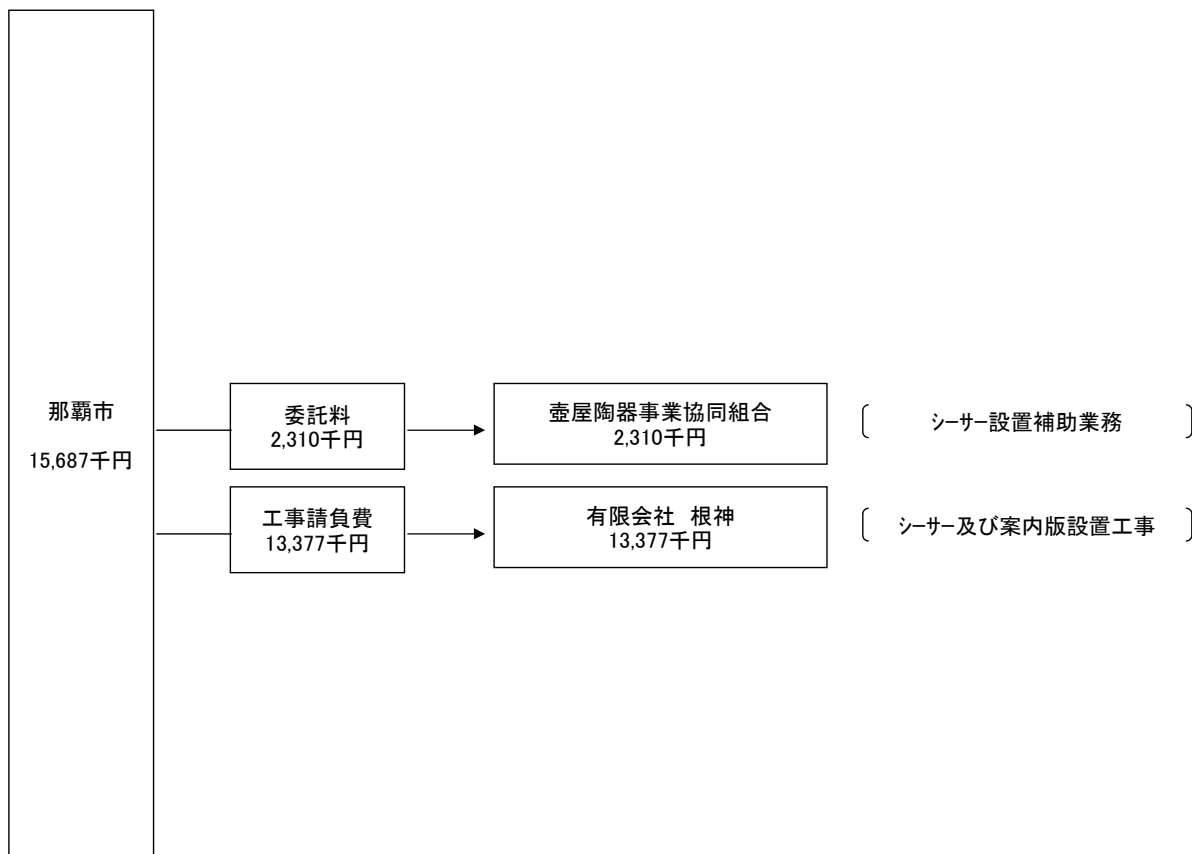
今後の取り組み方針

道路整備等による当該地区へのアクセスの向上を図る。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費			交付対象 外経費
		交付金 充当額	市町村 負担金	
15,687	15,687	12,549	3,138	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものに限定され、支出等に関する書類により確認でき、適正であると考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-12	首里地区回遊促進案内板等設置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	都市計画部都市計画課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)			
事業内容	観光都市としての景観・美観形成のため、特に観光客が多く、本市伝統文化の香りが残る首里城を中心とした首里地区に、地区内回遊促進を図るための調査を実施する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,027					
		(b) 予算現額	6,027					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	6,027	0				
	B. 執行済額		5,723					
	うち交付金充当額		4,578					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		95.0%					
予算の状況の説明		・不要額304千円発生しているが、委託費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度	
	・案内板等の設置に向けた実施計画案の策定	目 標	(実施計画案策定)	()	()	()	()	
		実 績	実施計画案策定					
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
達成状況説明	実施計画案を策定した。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	実施計画案の策定	目 標	(ー)	(実施計画案策定)	()	()	()	
		実 績		実施計画案策定				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	実施計画案を策定した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	モノレール首里駅から首里城までの円滑な誘導及び、首里城から首里地区の回遊性向上に必要な方法として、案内板設置等の促進を図るための実施計画案を策定するものである。 しかしながら、系統的な案内板設置には一定の期間が必要であり、既存案内板の維持管理計画の調整も必要となる。	複数年計画として関係事業機関の全体計画への反映や、管理計画についてもより風化しにくい素材を選択するなど維持管理しやすい材質の選択を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
計画の促進のため今後も関係機関と調整を行っていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>5,723</td><td>5,723</td><td>4,578</td><td>1,145</td><td></td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,723	5,723	4,578	1,145	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,723	5,723	4,578	1,145											
那覇市 5,723千円 → 委託料 5,723千円 → 株式会社 沖縄プランニング 5,723千円 (首里地区回遊促進案内板等設置事業にかかる委託業務)														
資金の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
資金の流 点検 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○回遊促進策としての案内板等の設置に向けた実施計画案の作成業務であり、委託事業者は都市計画に精通した10業者による指名競争入札にて選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものに限定され、支出等に関する書類により確認でき、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-15	亜熱帯庭園都市の歩行者専用道路整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部署名	企画財務部財政課 (上下水道局管理課)	事業実施 (予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光地としてのグレードアップを図るため、那覇新都心シビックコア地区整備計画に基づき、官庁施設や商業施設をつなぐ亜熱帯庭園都市にふさわしい歩行者専用通路を整備した。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	12,600					
		(b) 予算現額	12,600					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	12,600	0				
	B. 執行済額		10,800					
	うち交付金充当額		8,640					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		85.7%					
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	那覇新都心シビックコア地区内における歩行者専用通路整備延長	目 標	(約75m)	()	()	()		
		実 績	約75m					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
	達成状況説明	那覇新都心シビックコア地区における歩行者専用通路整備延長：約75m						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)	
	那覇新都心シビックコア地区内における歩行者専用通路の整備延長率	目 標	()	(100%)	()	()	()	
		実 績		100%				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	・ 那覇新都心シビックコア地区整備計画に基づいて計画された歩行者専用通路は、計画どおり整備を進めている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	計画どおり整備を進めている。	現時点では、整備完了時期についての変更はない。
今後の取り組み方針		
那覇新都心シビックコア地区整備計画に基づいて計画された残りの歩行者専用通路の整備については、民間の事業者により整備完了を予定している。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>10,800</td><td>10,800</td><td>8,640</td><td>2,160</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	10,800	10,800	8,640	2,160	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
10,800	10,800	8,640	2,160	0										
那覇市 那覇市 8,640千円 (一般会計) (負担金) 那覇市上下水道局 工事請負費 10,800千円 ※11,340千円(消費税込み) 株式会社 大平土木 10,800千円 ※11,340千円(消費税込みの金額) (歩行者専用通路の整備に係る工事請負費)														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○交付金交付要綱に沿った事業であり、負担金支出は妥当である。○請負業者については、工事に当たって必要な技術者がいる登録業者より指名選定を行い、競争入札を実施して決定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1ー⑯ 市内観光地観光客安全対策事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)			
担当部署名	市民文化部 市民生活安全課		事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光都市としてのグレードアップと、観光客等の安心安全確保のため、市内観光地に防犯カメラを設置する。							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	0					
		(b) 予算現額	14,548					
		(c) 増減額 (b-a)	14,548					
		(d) 前年度繰越額	－					
		A. 計 (b+d)	14,548	0				
	B. 執行済額		14,378					
	うち交付金充当額		11,501					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		98.8%					
予算の状況の説明		・地域団体から、同団体が主体となって設置する街頭防犯カメラに対する支援要請があり、年度途中で事業化した。ほぼ計画通りに執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	補助件数：2地域(2団体)	目 標	(2地域(2団体))	()	()	()		
		実 績	2地域(2団体)					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	主要観光地である2地域(那覇市松山及び国際通り)の主体となる団体と、地域の実情や事業を実施する上での負担割合等に関する意見交換を行い、事業化に結びつけた。 なお、記録画像の適切な管理を行なえるよう、事業化に至る前に那覇警察署と連携し、団体、警察、行政の3者で管理に関する協定書を結んだ。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	主要観光地(施設)における防犯カメラ設置 補助件数：2件	目 標	(-)	(2件)	()	()	()	
		実 績		2件				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	主要観光地である、2地域(那覇市松山及び国際通り)で補助事業を実施した。 ・松山地域・・・主体：若松通り会、設置台数：15台 ・国際通り地域・・・主体：那覇市国際通り商店街振興組合連合会、設置台数：16台						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	1. 団体負担分として、設置費の1割及び維持管理費が必要となるが、財政力が弱い団体においては、費用の捻出が難しい。 2. 団体が街頭防犯カメラを設置する際に、設置場所の許可に時間がかかる、または許可が得られないケースがあった。 3. 団体、警察、行政の3者で協定を結ぶことで、各自の役割を明確化した。	1. 団体が本事業の必要性を感じて、自主的に費用面の課題を解決しているように見えるような意識付けを行う。 2. 今回は、年度途中で事業化し時間が短かく、団体と店主との交渉の時間が十分に取れなかったことが主な原因であった。
今後の取り組み方針		
1. 本事業を検討している団体に、事業内容や費用負担面の説明を行い、事業実現に向けて団体加入率の拡大などを検討してもらう。 2. 要請にあたっては、団体が店主と十分な交渉を行い、設置場所を確定した上で提出するよう指導する。 3. 今後も協力関係を維持するよう努める。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金	市町村	交付対象 外経費
		充当額	負担金	
15,975	14,378	11,501	2,877	1,598

那覇市
14,378千円

補助金
14,378千円

若松通り会
4,691千円

〔街頭防犯カメラ設置に係る経費の補助〕
〔団体負担分(交付対象外経費)522千円〕

那覇市国際通り商店街振興組合連合会
9,687千円

〔街頭防犯カメラ設置に係る経費の補助〕
〔団体負担分(交付対象外経費)1,077千円〕

資金の 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
資金の 使途の 点検 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	・補助団体は、これまで地域防犯活動に取り組んでおり、本事業によって、さらなる安全安心なまちづくりを推進する上で、妥当であったと考えている。 ・費目・使途については、団体から事業化に向けた要請を受けた時点でも補助内容の確認を行い、額の確定時における書類においても確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市							
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1ー②〇 那覇の観光イメージアップ事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章－3－(2)－ウ			
担当部署名	経済観光部 なはまちなか振興課		事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
						Ⅲ－1－(1)		
事業内容	観光都市としての景観・美観の確保のため、国際通り等の観光地の歩道路面に点在し景観悪化を招いている付着物の除去作業を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額【単位：千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	23,888					
		(b) 予算現額	23,888					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	－					
		A. 計 (b+d)	23,888	0				
	B. 執行済額		23,888					
	うち交付金充当額		19,110					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		・当初の計画通り執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	国際通りの環境美化(歩道付着物(ガム等)の一斉除去)の実施	目 標	(環境美化の実施)	()	()	()		
		実 績	環境美化の実施					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	・国際通り(3,000m、15,019㎡)、・沖映通り(900m、3,987㎡)、・中心商店街(①平和通り②むつみ橋通り③市場本通り④市場中央通り⑤新栄通り、970m、7,063㎡)のガム除去作業を行った。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	国際通りの環境美化(歩道付着物(ガム等)の一斉除去)の実施	目 標	(-)	(歩道付着物除去)	()	()	()	
		実 績		歩道付着物除去249,520個				
	【参考指標】	目 標	(-)	(-)	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	・国際通り(165,726個)、・沖映通り(61,689個)、・中心商店街(22,105個)のガム除去作業を行った。 ・ポスター(A2)2,000枚、・チラシ(A4)5,000枚、・ステッカー(4C)2,000枚、・ポケットティッシュ40,000個を作成・配布し啓発活動も行った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・当該事業は、ガム除去の作業であり、歩道には油污れ等も目立つ。それらの対応に苦慮している。	・各商店街の、美化へ対する積極的な取り組みが求められる。
今後の取り組み方針		
・当該事業にて、美化作業を実施した歩道を各商店街等が維持できるよう、指導・助言・支援等を行っていく。		

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
23,888	23,888	19,110	4,778	

```

            graph LR
                A[那覇市  
23,888千円] --> B[委託料  
16,863千円]
                A --> C[委託料  
4,410千円]
                A --> D[委託料  
2,615千円]
                B --> E[那覇市国際通り商店街振興組合連合会  
16,863千円]
                C --> F[那覇市沖映通り商店街振興組合  
4,410千円]
                D --> G[那覇市中心商店街連合会  
2,615千円]
                E --> H[株式会社 ライズウェイ  
14,501千円]
                E --> I[株式会社 池宮商会  
1,837千円]
                E --> J[那覇市国際通り商店街振興組合連合会  
525千円]
                F --> K[株式会社 ライズウェイ  
4,200千円]
                F --> L[那覇市沖映通り商店街振興組合  
210千円]
                G --> M[株式会社 ライズウェイ  
2,300千円]
                G --> N[那覇市中心商店街連合会  
315千円]
                H --- O["(ガム除去に係る委託業務)"]
                I --- P["(啓発ポスター等印刷)"]
                J --- Q["(一般管理)"]
                K --- R["(ガム除去に係る委託業務)"]
                L --- S["(一般管理)"]
                M --- T["(ガム除去に係る委託業務)"]
                N --- U["(一般管理)"]
            
```

資金の 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
○		支出先の選定方法は妥当か。	・当該事業については、「那覇市国際通り商店街振興組合連合会」、「那覇市沖映通り商店街振興組合」、「那覇市中心商店街連合会」から、強い要請がなされており、これを受けて、行政、地域団体、市民との協働によるまちづくりに資する事業として、当該要請団体への事業委託という形で事業を実施した。 ・事業内容及び費目については報告書類等により適正であると確定した。
○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
○		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-25	ベランダ緑化推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-イ		
担当部署名	建設管理部 花とみどり課		事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	価値創造のまちづくり Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、ベランダ緑化推進事業としてのブーゲンビレアの苗等の配布を行う。							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,500					
		(b) 予算現額	1,500					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	1,500	0				
	B. 執行済額		600					
	うち交付金充当額		480					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		40.0%					
予算の状況の説明		当事業はベランダ緑化の講習会を実施し、参加者にブーゲンビレア苗等を配布しているが、今年度、当初見込んでいた参加人数より実績が下回る見込みだったため、当初予算から900千円減額補正とした。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の宅地へブーゲンビレア苗等の配布：300鉢	目 標	（ 300鉢 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	240鉢					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
達成状況説明	ベランダ等緑化講習会を全7回実施し、講習会の参加者にブーゲンビレア苗等の配布を行った。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の宅地へブーゲンビレア苗等の配布：300鉢	目 標	（ ー ）	（ 300鉢 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		240鉢				
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	ベランダ等緑化講習会を全7回実施し、講習会の参加者にブーゲンビレア苗等の配布を行った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	当事業はベランダ緑化の講習会を実施し、参加者にブーゲンビレア苗等を配布しているが、今年度、当初見込んでいた参加人数より実績が下回っており、事業規模の検証、事業の啓発活動の取組方などの検証が必要である。	市民への当事業に関する情報発信の方法等を改善するとともに、他の施策とも連携しながら、更なる緑化に対する意識向上に資するべく、啓発活動により一層取り組む必要がある。
今後の取り組み方針		
他の施策とも連携し、緑化に対する啓発活動に努めながら、本市の緑化推進のためベランダ緑化推進事業を行っていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> <tr> <td>600</td><td>600</td><td>480</td><td>120</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	600	600	480	120	0
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
600	600	480	120	0										
那覇市 600千円 苗の購入 600千円 民間業者 600千円 ブーゲンビレア苗等の購入														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費用・使途については事業目的に即し真に必要なものか等、支出関係書類等において確認を行った。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-26 花いっぱい運動推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(6)-イ			
担当部署名	建設管理部 花とみどり課		事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	価値創造のまちづくり		
Ⅲ-1-(1)								
事業内容	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、自治会、幼保小中学校、ボランティア団体等へ、市域を花でいっぱいにするための草花苗の配布等を実施する。							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,900					
		(b) 予算現額	3,774					
		(c) 増減額 (b-a)	874					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	3,774	0				
	B. 執行済額		3,774					
	うち交付金充当額		3,019					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		市民団体等からの要望が多数あり、市域の花いっぱい運動を推進するため、当初予算から900千円増額補正とした。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の宅地等へ草花苗の配布：26,000鉢	目 標	(26,000鉢)	()	()	()		
		実 績	33,504鉢					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
	達成状況説明	市域の花いっぱい運動推進のため、全140団体（個人含む）に草花苗の配布等を行った。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の宅地等へ草花苗の配布：26,000鉢	目 標	(ー)	(26,000鉢)	()	()	()	
		実 績		33,504鉢				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	市域の花いっぱい運動推進のため、全140団体（個人含む）に草花苗の配布等を行った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	今年度は、当初見込み以上の草花苗の配布希望があり、当初の事業目的を達成できたと考える。今後も取り組みを継続または発展していけるよう、適宜、事業の効率化等の検証を行っていく必要がある。	他の施策とも連携しながら、更なる緑化に対する意識向上に資するべく啓発活動に取り組みながら、継続的に事業を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
他の施策とも連携し、緑化に対する啓発活動に努めながら、本市の景観・美観の創出・継承のため、市域の花いっぱい運動を推進していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> <tr> <td>3,774</td><td>3,774</td><td>3,019</td><td>755</td><td>0</td></tr> </table> 那覇市 3,774千円 苗の購入 1,900千円 民間業者 1,900千円 草花苗等の購入 委託料 1,874千円 民間業者 1,874千円 花壇花卉植栽にかかる委託業務					総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	3,774	3,774	3,019	755	0
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
3,774	3,774	3,019	755	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費用・使途については事業目的に即し真に必要なものか等、支出関係書類等において確認を行った。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-27	緑の診断・生育事業（公共空間）			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-イ		
担当部署名	建設管理部 花とみどり課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	価値創造のまちづくり Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、公共空間の樹木の専門家診断に基づく適切な手当や保全生育を図る。また、必要に応じて樹種の入れ替え等を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,000					
		(b) 予算現額	5,000					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	5,000	0				
	B. 執行済額		4,830					
	うち交付金充当額		3,864					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		96.6%					
予算の状況の説明		不用額が170千円発生しているが、委託費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	緑の診断・生育マニュアルの策定	目 標	（ 緑の診断・生育マニュアル策定 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	緑の診断・生育マニュアル策定					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
達成状況説明	当初の目標どおり、緑の診断・生育マニュアルを策定した。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	緑の診断・生育マニュアルの策定	目 標	（ ー ）	（ 緑の診断・生育マニュアル策定 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		緑の診断・生育マニュアル策定				
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	当初の目標どおり、緑の診断・生育マニュアルを策定した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	今年度は、緑の診断・生育マニュアルの策定を行った。今後は、策定したマニュアルをもとに、効果的に事業を実施していくため、関係部署へマニュアルの周知を行う必要がある。	今後は、今年度(平成24年度)に策定したマニュアルをもとに事業を行っていくが、マニュアルの見直しなど、改善の余地がないか定期的に事業効果の検証を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
今後は、今年度(平成24年度)に策定したマニュアルをもとに、定期的に事業効果の検証を行いながら、緑の診断及び生育に必要な手当等を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
4,830	4,830	3,864	966	0

那覇市
4,830千円

→

委託料
4,830千円

→

民間業者
4,830千円

(緑の診断・生育マニュアル策
定にかかる業務委託)

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者の選定については、指名競争入札により行ったため、選定方法は妥当であったと考える。 ○費用・使途については事業目的に即し真に必要なものか等、契約一件書類等において確認を行った。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-31	那覇大綱挽振興事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-エ		
担当部署名	経済観光部 観光課		事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化の発信・交流	
						Ⅲ-1-(1)	
事業内容	伝統に根ざしたイベントの支援強化と観光イベントとしての事業充実を図るため、「那覇大綱挽まつり」で、「那覇大綱挽」を実施している那覇大綱挽保存会に対して事業支援を行う。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	12,779				
		(b) 予算現額	12,779				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	－				
		A. 計 (b+d)	12,779	0			
	B. 執行済額		12,779				
	うち交付金充当額		10,223				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画通りに執行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	「那覇大綱挽」を実施する那覇大綱挽保存会に対して事業支援を実施	目 標	（ 那覇大綱挽への支援の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	那覇大綱挽への支援の実施				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
達成状況説明	事業支援として、一般社団法人 那覇大綱挽保存会へ那覇大綱挽の実施にかかる費用を補助した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	那覇大綱挽まつり会場来場者数	目 標	（ 320,000人 ）	（ 400,000人 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		400,000人			
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	平成24年度は、那覇大綱挽保存会が補助金を活用し、新たな栈敷席を購入する等、円滑に事業を実施した。 大綱挽の前日に行われる、市民民俗・伝統芸能パレードには、初めてディズニーパレードやミス・インターナショナルも参加し、例年よりも来場者数が大幅に増加したと思われる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①まつり当日、大綱挽の観客で混雑しており安全確保の面で不安がある。 ②大綱挽保存会の自主財源が必要である。	①動員者数の確保や大綱挽会場の動線の確保、案内の方法の改善策を検討する。 ②新たに購入した栈敷席に寄付団体名を付ける等、寄付金収入が得られるように事業を行う等。
今後の取り組み方針		
補助交付団体である那覇大綱挽保存会に改善策の検討・提案を行ってもらい、安定したまつり運営が行えるよう、指導・助言を行っていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
那覇市 12,779千円 ↓ 補助金 12,779千円 ↓ 那覇大綱挽保存会 12,779千円 【保存会負担分】 (交付金対象外経費) 16,053千円 (那覇大綱挽事業実施に係る経費の補助)		<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>28,832</td><td>12,779</td><td>10,223</td><td>2,556</td><td>16,053</td></tr> </table>			総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	28,832	12,779	10,223	2,556	16,053
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
28,832	12,779	10,223	2,556	16,053										
資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○那覇大綱挽の保存・継承を行っている那覇大綱挽保存会に補助金交付を行っている。 ○補助金交付額は、那覇大綱挽総事業費約28,000千円のおよそ5割以下の補助となっている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-32	琉球王朝祭り首里振興事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-エ	
担当部署名	経済観光部 観光課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	文化の発信・交流	
						Ⅲ-1-(1)	
事業内容	伝統に根ざしたイベントの支援強化と観光イベントとしての事業充実を図るため、「琉球王朝祭り首里」を開催している首里振興会に対して事業支援を行う。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,036				
		(b) 予算現額	6,036				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	6,036	0			
	B. 執行済額		6,036				
	うち交付金充当額		4,828				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画通りに執行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	「琉球王朝祭り首里」を開催する首里振興会に対して事業支援を実施	目 標	（ 「琉球王朝祭り首里」への支援 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	「琉球王朝祭り首里」への支援				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
	達成状況説明	事業支援として、首里振興会へ「琉球王朝祭り首里」実施に係る費用を補助した。					
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	琉球王朝祭り首里観客動員数	目 標	（ 55,000人 ）	（ 56,000人 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		58,000人			
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	天候に恵まれ、来客数が増加した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・観光客の誘導 ・駐車場や会場への誘導	・首里振興会事務局との連絡体制の強化
今後の取り組み方針		
・首里振興会事務局と那覇市との業務分担及び連携方法を再確認し、スムーズな事業進行を目指す。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> <tr> <td>7,036</td><td>6,036</td><td>4,828</td><td>1,208</td><td>1,000</td></tr> </table> 那覇市 6,036千円 補助金 6,036千円 首里振興会 6,036千円 振興会負担分 (交付対象外経費) 1,000千円 第47回琉球王朝祭り首里 開催に係る経費の補助					総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	7,036	6,036	4,828	1,208	1,000
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
7,036	6,036	4,828	1,208	1,000										
資金 使途の 流れ、 点検、 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は祭りの主催団体であり、支出先として妥当である。 ○費用について、補助金の使途として適切でない人件費や食料費等は独自予算で処理しており、補助金の使途は適正である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-33	プロ野球キャンプ等支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ	
担当部署名	経済観光部 観光課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成	
						Ⅲ-1-(1)	
事業内容	スポーツコンベンションとして観光地の魅力アップを図るため、読売巨人軍春季キャンプの受入体制強化を図るとともに、公式戦の誘致活動を行う。						
実施方法	■直接実施 ■委託 ■補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	46,142				
		(b) 予算現額	46,142				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	46,142	0			
	B. 執行済額		41,517				
	うち交付金充当額		33,213				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		90.0%				
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	「那覇の日」観光誘客キャンペーンの実施	目 標	（ キャンペーン実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	キャンペーン実施				
	キャンプ受入施設の整備	目 標	（ 施設整備 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	施設整備				
	キャンプ期間中の警備	目 標	（ 安全確保のための警備実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	安全確保のための警備実施				
	公式戦・イースタンリーグ戦の開催支援	目 標	（ 公式戦・イースタンリーグ戦の開催支援 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	公式戦の開催支援				
達成状況説明	・なはの日（7月8日）に東京ドームにて「めんそーれ沖縄・なはデー」を開催し、会場で那覇のPRを行った。 ・キャンプ受入のため、大型テントの設置撤去、投手エリア・サブグラウンドの整地、陸上競技場の芝の整正。 ・キャンプ期間中の来場者の安全確保のための警備。 ・プロ野球公式戦への補助金						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	読売巨人軍那覇キャンプ見学者数	目 標	（ 9,500人/日 ）	（ 9,500人/日 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		5,796人/日			
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	【下回った理由】 WBC日本代表に巨人軍から8選手が選出され、那覇キャンプに参加しなかった影響もあり、来場者が目標より下回った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	なはの日キャンペーンについては、問題なく実施できているが、同行するエイサー隊の人数を増やすことができればより大きな効果が期待できる。 受入施設の整備については、天候にも左右されるので余裕をもった発注が望ましい。 警備については、キャンプ期間及び内容により実施日数が左右されるので、事前の準備が難しい。 公式戦の補助金については、本県が離島であるため、渡航費に多くの費用がかかる。今後も継続して公式戦を誘致するためには補助金の額を検討。	エイサー隊の人数を増やせばより盛大な演出が可能となる。 余裕をもった発注が望ましい。 早めの情報収集が必要。 主催者の負担を減らすためにも補助金の増額が可能か検討。
今後の取り組み方針		
プロ野球のキャンプおよび公式戦を継続させるために、受入体制、施設整備の充実を図っていく。 プロ野球球団に公式戦開催の要請活動も実施していく。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額
		41,517	41,517	33,213
				市町村負担金
				8,304
				交付対象外経費
那覇市 41,517千円	委託料 30,284千円	(株)アカネクリエーション	700千円	〔なはの日映像・チラシ製作〕
		(株)読売新聞社	246千円	〔なはの日チラシ配付〕
		(有)ターフメンテナンス・ヒガ	7,350千円	〔陸上競技場不陸整正〕
		(有)西原農園	8,925千円	〔屋外ブルベン及びグラウンド整備〕
		砂辺松福テント	8,085千円	〔大型テント設置撤去〕
		(株)シミズオクト	4,978千円	〔キャンプ警備〕
	補助金 2,000千円	読売巨人軍那覇協力会	1,000千円	〔イースタンリーグ公式戦〕
		琉球放送(株)	1,000千円	〔プロ野球公式戦〕
	備品購入費 5,113千円	マチダテクノ(株)	4,150千円	〔イレクターフェンス〕
		興洋電子	963千円	〔無線機〕
	使用料及び賃借料 1,371千円	沖縄日立キャピタル(株)	1,096千円	〔トレーニング器具リース〕
		奥武山公園運営管理事務所	275千円	〔施設使用料〕
	事務費 2,749千円	〔旅費、消耗品、広告料、共済費、賃金〕		
資金の用途の点検・評価	評価	点検項目		評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○委託事業者は入札、公募型プロポーザル方式により選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○補助金については、主催者以外の他者との競争は無いので随意契約としています。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なもののなか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-34	NAHAマラソンランナーリピーター促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(3)-イ		
担当部署名	経済観光部 観光課	事業実施（予定）年度	平成24～25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	圏域の特色を生かした産業の振興（ア）観光リゾート産業の振興 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光関連イベントの支援強化を図るため、NAHAマラソンのイメージアップを図り、県外参加者のリピータを増やすための交流イベントを開催する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,736					
		(b) 予算現額	4,736					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	4,736	0				
	B. 執行済額		4,736					
	うち交付金充当額		3,788					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		計画通りに執行した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	ジョガー同士の交流を促進する各種イベントの開催	目 標	（ 交流イベント開催 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	交流イベント開催					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
達成状況説明	NAHAマラソンゴール後にジョガー同士が交流できる場の提供。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	NAHAマラソンジョガー交流会参加者数	目 標	（ 0 ）	（ 800人 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		800人				
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	悪天候のために参加者は約800人程度であった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・雨天時の対策 ・ジョガーを交流会場へ誘導する導線 ・各市町の観光PR及び物販の内容	・大型テントの増設検討 ・会場内のテントブース配置の見直し及び誘導路の整備 ・観光PRの充実及び物販内容の見直し
今後の取り組み方針		
NAHAマラソン実行委員会内に設置するジョガー交流会運営委員会において、24年度の留意点を考慮のうえで改善策を検討する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>4,736</td><td>4,736</td><td>3,788</td><td>948</td><td></td></tr> </table> 那覇市 4,736千円 委託料 4,736千円 (社)那覇市観光協会 4,736千円 第28回NAHAMマラソンジョガー交流会 事業に係る業務委託					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	4,736	4,736	3,788	948	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
4,736	4,736	3,788	948											
資金の流	評価	点検項目	評価に関する説明											
資金の流 点検 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者(那覇市観光協会)はNAHAMマラソン実行委員会内に設置されたジョガー交流会運営委員会の所属する団体であり選定は妥当であると考えている。 ○観光協会が会場設営等業務を委託する際には2社から見積を取り低価格の業者を選定し、出展者はマラソコース上の南部広域市町村圏組合に限定していることからこの事業の目的から鑑み、支出等に関して適正である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-35	プロ野球キャンプにぎわい創出事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ		
担当部署名	経済観光部 観光課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成		
						Ⅲ-1-(1)		
事業内容	スポーツコンベンションとしての観光地の魅力アップを図るため、読売巨人軍春季キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント等を拡充して設置する。							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	21,450					
		(b) 予算現額	21,450					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	21,450	0				
	B. 執行済額		21,410					
	うち交付金充当額		17,128					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		99.8%					
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	巨人軍への「かりゆしウェア」贈呈、着用PR	目 標	（ 「かりゆしウェア」贈呈、着用PR ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	「かりゆしウェア」贈呈、着用PR					
	春季キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント等の実施	目 標	（ ステージイベント等の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	ステージイベント等の実施					
達成状況説明	・キャンプ期間中には多くの方に来場いただき、県内一のにぎわいを見せた。 ・選手へかりゆしウェアを贈呈して着用していただいた。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	読売巨人軍那覇キャンプ見学者数	目 標	（ 9,500人/日 ）	（ 9,500人/日 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		5,796人/日				
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	【下回った理由】 WBC日本代表に巨人軍から8選手が選出され、那覇キャンプに参加しなかった影響もあり、来場者が目標より下回った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	観客の入りが天候に左右される。	雨天時の対策を徹底し、より楽しめる会場としたい。
今後の取り組み方針		
今後より楽しめる会場にするための取り組みを推進していく。		

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
21,410	21,410	17,128	4,282	0

```

            graph LR
                A[那覇市  
21,410千円] --> B[委託料  
20,250千円]
                A --> C[需用費  
1,160千円]
                B --> D["(株)アカネクリエーション  
15,000千円"]
                B --> E["(株)日レイベント  
5,250千円"]
                C --> F[イオン琉球  
1,160千円]
                D --- G["プロ野球キャンプにぎわい創  
出事業委託業務(出店、ス  
テージイベント等)"]
                E --- H["プロ野球キャンプにぎわい創  
出事業(大型ビジョン活用)委  
託業務"]
                F --- I["観光PR用かりゆしウェアの購  
入"]
        
```

資金の 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
○		支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により選定しており、妥当であったと考えている。 ○随意契約も権利の都合上、他者との競争は無いため随意契約としている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
—		受益者との負担関係は妥当であるか。	
○		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-36	国際通りとマチグワァーのにぎわい事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(8)-イ		
担当部署名	経済観光部	なはまちなか振興課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	商店街・中心市街地の活性化と商業の振興 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	ひやみかちマチグワァー館を観光施設として充実を図るため、当該施設を拠点としたイベントを開催する。							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	77,127					
		(b) 予算現額	77,127					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	77,127	0				
	B. 執行済額		77,024					
	うち交付金充当額		61,619					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		99.9%					
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	マチグワァーでのイベント実施	目 標	（ 週4～5回 約140日 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	176日					
	各通り会のイベント支援 マチグワァーへの集客PR	目 標	（ 広告等支援 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	毎月のイベントをチラシにし通り会のイベント告知					
達成状況説明	平成24年9月から平成25年3月までひやみかちマチグワァー館、周辺通り等でイベントを実施し、7か月で176日、のべ32000人の集客を得た。通り会のイベントをマチグワァー館のイベントチラシ（毎月約10000枚作成）に掲載し、PR支援を行った。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値 （23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値 （ 年度）	
	さいおんスクエア前広場イベントへの来場者数	目 標	（ 0 ）	（ 1,000人/日 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		1,158人/日				
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	さいおんスクエア前広場では毎週、金、土、日にイベントを開催し、7ヶ月で63回実施。のべ73000人の来場者数であった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	ひやみかちマチグー館、さいおんスクエア前広場、ともに目標を達成した。アンケートでは88、5%が面白かったと答えており、満足度も高かったと評価できる。 しかし、50代から60代が来場者の5割を超えており、次世代を担う若い世代への誘客が課題となる。 また、イベント集客による周辺商店街への経済効果についての検証がされていないことも課題である。	来場者数については、前年度と同等の集客を目標とし、多様な年齢層に来場してもらえるように、工夫することが必要。 また、周辺商店街への経済効果を意識したイベントを行い、商店への聞き取り調査を行うことで実施の効果をはかる必要がある。
今後の取り組み方針		
事業委託業者へはひやみかちマチグー館での定期的なイベント(週3・4回以上)で前年と同等の集客をすることを目標とし、若い世代を誘客できるようなイベントを実施してもらう。 また、周辺商店街への経済効果を意識したイベントを実施し、効果の検証をするよう求める。		

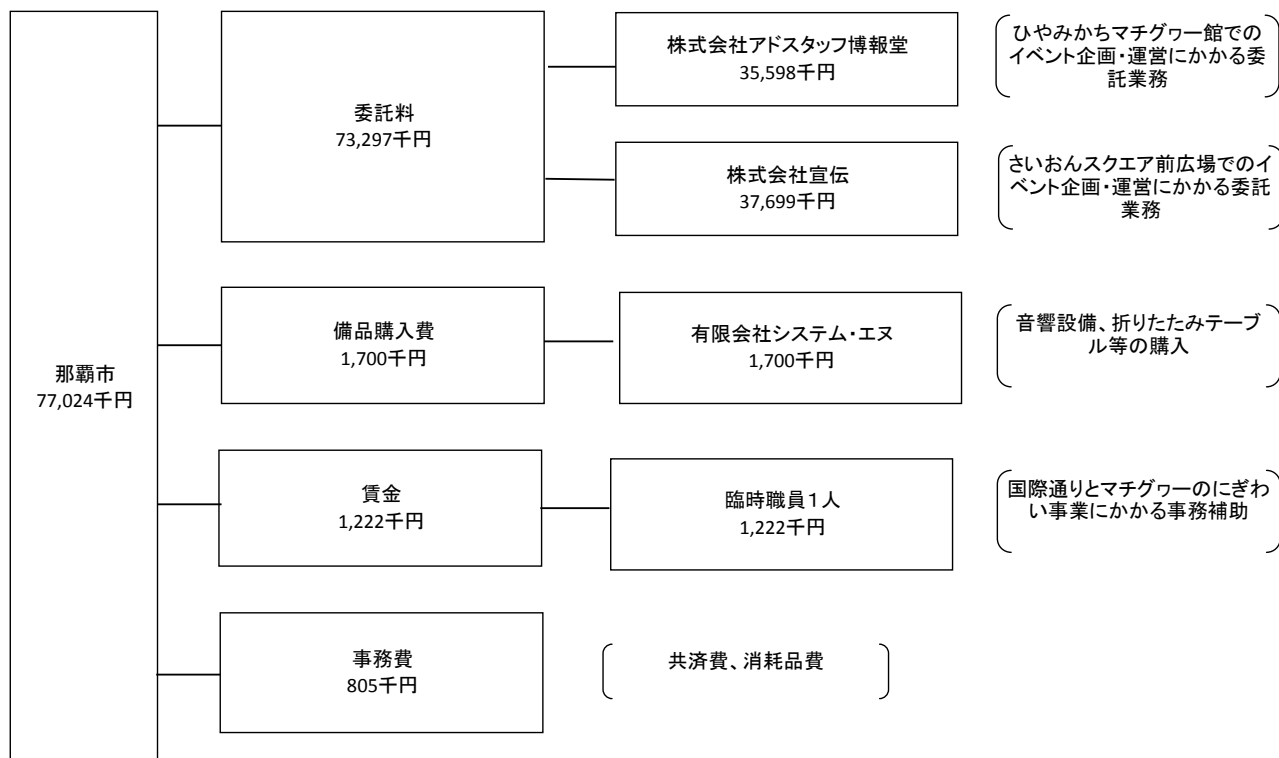
今後の取り組み方針

事業委託業者へはひやみからマチグラー館での定期的なイベント(週3・4回以上)で前年と同等の集客をすることを目標とし、若い世代を誘客できるようなイベントを実施してもらう。
また、周辺商店街への経済効果を意識したイベントを実施し、効果の検証をするよう求める。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
77,024	77,024	61,619	15,405	



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は公募型プロポーザル方式で、企画提案、企業組織、実績等をふまえて選定しており妥当である。 事業実績からも妥当な予算であったと言える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-37	パフォーマンス等による国際通り活性化推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(8)-イ		
担当部署名	経済観光部	なはまちなか振興課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	商店街・中心市街地の活性化と商業の振興 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光誘客のため、国際通りトランジットモールでのイベント・パフォーマンス等を行うことにより、国際通りの活性化を推進する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	9,184					
		(b)予算現額	9,184					
		(c)増減額(b-a)	0					
		(d)前年度繰越額	—					
		A.計(b+d)	9,184	0				
	B.執行済額		8,265					
	うち交付金充当額		6,612					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		90.0%					
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	国際通りトランジットモールの集客活動（パフォーマンス、音楽ライブ等）の支援	目標	トランジットモール集客活動支援					
		実績	トランジットモール集客活動支援					
		目標						
		実績						
達成状況説明	・トランジットマイルでのパフォーマンスイベントを充実させるべく、新たなパフォーマーの発掘や、観客からの声を収集した。12週(回)開催した。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	トランジットマイル開催時の通行者数	目標	(—)	(20,000人/日)				
		実績		20,000人/日				
	【参考指標】	目標						
		実績						
	進捗状況説明	・パフォーマンスの観客を1日あたり1600人～1700人集め、トランジットマイル全体（通行者含む）では、20,000人の来街があった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・当該事業にて、パフォーマーを登録制にし、運営していく中で、未登録のパフォーマーをうまく引きこむことができるか。	・当該事業で、発掘したパフォーマーや、これから活躍できる若いパフォーマーの育成の場としても活用できるイベントにしてもらいたい。
今後の取り組み方針		
・当該事業にて、発掘したパフォーマーの活用や、アンケート結果等を参考にし、今後のトランジットマイル運営に生かせるよう、連携していきたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>9,184</td><td>8,265</td><td>6,612</td><td>1,653</td><td>919</td></tr> </table> 那覇市 8,265千円 → 補助金 8,265千円 → 那覇市国際通り商店街振興組合連 合会 8,265千円 → 共同組合 沖縄産業計画 8,265千円 (パフォーマンス等によ る 国際通り活性化推 進事業に係る委託業 務) 通り会員分担(交付金対象外経費) 919千円					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	9,184	8,265	6,612	1,653	919
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
9,184	8,265	6,612	1,653	919										
資金 使途の 流れ、 点検 評価 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○		支出先の選定方法は妥当か。	・補助事業者である那覇市国際通り商店街振興組合連合会は、トランジットマイルを主催・運営している団体であり、妥当と考える。 ・事業内容及び費目については報告書類等により適正であると確定した。											
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
		受益者との負担関係は妥当であるか。												
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-38	国際通りトランジットマイル推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(8)-イ		
担当部署名	経済観光部	なはまちなか振興課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	商店街・中心市街地の活性化と商業の振興 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	本市産業の振興発展を図るため、国際通りで実施しているトランジットモールの実施主体である国際通り商店街振興組合連合会に対して事業支援を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,520					
		(b) 予算現額	1,520					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	1,520	0				
	B. 執行済額		1,520					
	うち交付金充当額		1,216					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		計画通りに執行した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	国際通りトランジットモール環境整備の支援	目標	（ トランジットモール実施の支援 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実績	トランジットモール実施の支援					
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実績						
	達成状況説明	国際通りの活性化を目指して、平成24年7月から平成25年3月までの間、毎週日曜日の12時から18時まで、県庁北口交差点～蔡温橋交差点の約1.3Kmをトランジットモール区間として実施した、那覇市国際通り商店街振興組合連合会へ事業支援を行った。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	トランジットマイル開催時の通行者数	目標	（ - ）	（ 20,000人／日 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績		20,000人／日				
	【参考指標】	目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績						
	進捗状況説明	トランジットモールの実施により、平均20,000人／日（平均）の来街者があり、事業による国際通りへの集客効果があった。また、平成24年12月から3月までの間はトランジットモールにあわせて、パフォーマンス等による国際通り活性化推進事業を実施し、パフォーマンスや音楽ライブ等により、国際通りが活性化された。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・トランジットモールの実施により、国際通りへの来街者が増加し、一部店舗の売上増加も報告されている。一方、実施時間中は一般車両の通行が制限されることから、国際通りに近い周辺商店街への影響が懸念される。 ・雨天時や猛暑日は、来街者が減少傾向にある。	・国際通りと周辺商店街を来街者が回遊し、中心市街地内での滞留時間及び消費活動の増加を促進する取組が求められる。 ・雨天時や猛暑日を逆手に取った誘客イベントの実施や来街者受入環境の整備が求められる。 ・広告や寄付収入など、自主財源の確保を目指した取り組みが必要である。
今後の取り組み方針		
事業主体である国際通り商店街振興組合連合会に改善策の検討・提案を求め、安定した事業運営が行えるよう、指導・助言を行う。 また、当該事業が、国際通りの活性化と合わせて、周辺商店街への誘客及び販売促進に繋がる事業となるよう、国際通り及び周辺商店街が連携する取り組みの支援を検討する。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,020</td><td>1,520</td><td>1,216</td><td>304</td><td>500</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,020	1,520	1,216	304	500
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,020	1,520	1,216	304	500										
那覇市 1,520千円 ⇒ 補助金 1,520千円 ⇒ 那覇市国際通り商店街振興組合連合会 1,520千円 (補助内容:交通規制に係る人件費の補助) 組合負担分(交付金対象外経費)500千円														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助事業者である那覇市国際通り商店街振興組合連合会は、国際通りを地区とする商店街振興組合で構成されており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から額の確定時において支出に関する書類により確信し、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市							
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-39	ストリートダンスバトルin国際通り観光誘客事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア		
担当部課名	経済観光部 観光課		事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光都市としてのグレードアップを図るため、国際通りでのトランジットモールを活用した定期的なダンスイベントを実施し新たな観光資源とする。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,550					
		(b) 予算現額	7,550					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	7,550	0				
	B. 執行済額		2,049					
	うち交付金充当額		1,639					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		27.1%					
予算の状況の説明		当初予定より事業開始が遅れたため、事業実施計画を変更し、当初予定していた事業規模を縮小し事業実施を行った。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	国際通りを会場とした定期的なダンスイベントの実施	目 標	（ ダンスイベントの実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	1月～3月毎月1回実施					
	ダンスを観光資源とした観光都市PR	目 標	（ 観光都市PRの実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	観光都市PRの実施					
達成状況説明	○平成25年1月～3月の第3日曜日に国際通りてんぷす前広場「ポケットパーク」において、ストリートダンスコンテスト「King of Street」を開催（計3回）。 ○プロダンサーを中学・高校へと派遣し、ダンスレッスンを行った。2月と3月（計2回）行っている。 ①訪問（那覇市立石嶺中学校、参加人数26名） ②訪問（那覇高等学校、参加人数32名）							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	ストリートダンスバトル来場者数	目 標	（ — ）	（ 6,000人 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		6,000人				
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	集客人数 毎月約2000人（延べ人数推定）の観覧者【県内 7～8割、観光客2～3割】 《参加者》 平成25年1月20日（日）：キッズ部門10チーム、一般10チーム、平成25年2月17日（日）：キッズ部門10チーム、一般4チーム、平成25年3月17日（日）：キッズ部門5チーム、一般9チーム						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①エントリー数が伸びない ②現在、雨天時の対策が施されておらず、雨天の場合イベントの中止を余儀なくされる。 ③スポンサー獲得について、自主財源の確保が必要。	①H24年度は、告知不足によりダンス関係者への認知度が低かった。周知・広報について検討してもらう。 (県内ダンススタジオへの定期的なポスティング、テレビ、ラジオ等を利用したプロモーション活動の実施)などを提言。 ②パワートントの設置を検討する。 ③県外および県内広告代理店を通して、スポンサー獲得を行う。
今後の取り組み方針		
補助交付団体である「King of Street実行委員会」には、課題の検証及び改善事項の提案を行ってもらい、適正な予算管理の上、事業実施を行ってもらう。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
那覇市 2,049千円 補助金 2,049千円 King of Street実行委員会 (King of Street事業実施に係る経費の補助) 2,049千円 King of Street実行委員会負担分 (交代対象外経費) 234千円				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
2,283	2,049	1,639	410	234
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目		評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○King of Street事業実施プロジェクト団体である「King of Street実行委員会」に補助金交付を行っている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○当初予定より事業開始が遅れたため、事業計画を見直し事業実施規模に見合った額へと変更している。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。		○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なもののなか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。		

市町村名	那覇市									
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】										
事業番号・事業名	1－40 中心商店街活性化支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章－3－(8)－イ					
担当部署名	経済観光部 なはまちなか振興課		事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所		商店街・中心市街地の活性化と商業の振興		
								Ⅲ－1－(1)		
事業内容	本市産業の振興発展と観光拠点としての発展を図るため、国際通り等中心商店街の振興組合等が行う活性化のための研修事業やイベント等の支援を行う。									
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）									
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度			
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,500							
		(b) 予算現額	2,500							
		(c) 増減額 (b-a)	0							
		(d) 前年度繰越額	－							
		A. 計 (b+d)	2,500	0						
	B. 執行済額		1,777							
	うち交付金充当額		1,421							
	次年度繰越額		0							
	執行率（％）(B/A)		71.1%							
予算の状況の説明		悪天候等の理由により、当初計画していたイベント事業の一部が中止されたため、不用額が生じた。								
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況							
				24年度	25年度	26年度	27年度			
	中心商店街（マチグラー）が実施するイベント等の支援	目 標	(9件)	()	()	()	()			
		実 績	9件							
		目 標	()	()	()	()	()			
		実 績								
達成状況説明	中心市街地の活性化に向けた創意工夫による積極的な取り組みを行う商店街及び通り会等に対して、事業費の一部を支援する。									
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)			
	中心商店街（マチグラー）が実施するイベント等の支援件数	目 標	(12件)	(9件)	()	()	()			
		実 績		9件						
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()			
		実 績								
	進捗状況説明	商店街及び通り会等が実施した以下のイベントに対して、事業費の一部を支援した。 ①家族みんなでカラオケ大会、②栄町市場ライブ、③壺屋やちみん通り祭り、④うりずん横町パルーンフェスタ、⑤ハロウィン仮装大会、⑥おきえいイルミネーション、⑦イルミネーションinガープ川、⑧むつみ橋イルミネーション、⑨太平通りアモーレ芸能団								

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・特段の課題はみられない。 理由として、雨天等の悪天候により、イベントが中止になった事業もあるが、概ね計画通り実施されている。また、イベントを継続的に実施することにより、認知度、集客率も向上の傾向にあり、当該事業が中心市街地の活性化に寄与しているものとする。	・現在は、商店街及び通り会等が主体的に実施するイベントを支援することで、中心市街地の認知度及び集客率の向上を目指している。 将来的には、これらの取り組みにより、商店街及び通り会の会員数、売上の増加を目指し、支援を必要としない商店街及び通り会を目指す。
今後の取り組み方針		
将来的には、これらの取り組みにより、商店街及び通り会の会員数、売上の増加を目指し、支援を必要としない商店街及び通り会を目指す。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
		2,451	1,777	1,421	356	674
那覇市 1,777千円	⇒	補助金 (70千円)	⇒	新栄通商店街振興組合(70千円) 組合負担分(交付金対象外経費)27千円		
	⇒	補助金 (155千円)	⇒	栄町市場商店街振興組合(155千円) 組合負担分(交付金対象外経費)59千円		
	⇒	補助金 (300千円)	⇒	壺屋やちむん通り会(300千円) 組合負担分(交付金対象外経費)114千円		
	⇒	補助金 (148千円)	⇒	うりずん横町通り会(148千円) 組合負担分(交付金対象外経費)56千円		
	⇒	補助金 (179千円)	⇒	那覇市平和通り商店街振興組合(179千円) 組合負担分(交付金対象外経費)68千円		
	⇒	補助金 (157千円)	⇒	沖映通り商店街振興組合(157千円) 組合負担分(交付金対象外経費)59千円		
	⇒	補助金 (300千円)	⇒	ガープ川中央商店街組合(300千円) 組合負担分(交付金対象外経費)114千円		
	⇒	補助金 (281千円)	⇒	むつみ橋通り会(281千円) 組合負担分(交付金対象外経費)106千円		
	⇒	補助金 (187千円)	⇒	太平通り商店街(188千円) 組合負担分(交付金対象外経費)71千円		
	資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目			評価に関する説明
○		支出先の選定方法は妥当か。			○補助事業者である商店街及び通り会は、商店街活性化助成事業補助基準に該当しており、妥当であったと考えている。	
○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。			○費目・使途については、事業目的達成の観点から額の確定時において支出に関する書類により確信し、適正であった。	
○		受益者との負担関係は妥当であるか。				
○		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-41	マチグワー屋台村構想事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(8)-イ		
担当部署名	経済観光部	なはまちなか振興課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	商店街・中心市街地の活性化と商業の振興 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光誘客と観光地としてのグレードアップを図るため、国際通り及びさいおんスクエア周辺など中心市街地に屋台村を設置する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	21,014					
		(b) 予算現額	21,014					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計 (b+d)		21,014	0				
	B. 執行済額		21,013					
	うち交付金充当額		16,810					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はおおむね実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度	
	屋台村の実施回数	目標	(90回以上)	()	()	()	()	
		実績	73回					
	屋台村への出店数	目標	(1回あたり5店舗以上)	()	()	()	()	
		実績	1日あたり8店舗					
	屋台村の出店場所	目標	(3ヶ所以上)	()	()	()	()	
		実績	3ヶ所					
	達成状況説明	中心市街地への集客、にぎわい創出を目指して、屋台村設置を73回(日)実施した。目標は90回であったが、台風や大雨のため、中止となった分があった。総計31台のキッチンカーと149店舗が出店した。開催場所は、3箇所(牧志駅前交通広場、美栄橋駅前交通広場、中心商店街にぎわい広場)であった。						
	成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
屋台村への来場者数(別事業:国際通りとマチグワーのにぎわい事業と合わせての開催)		目標	(-)	(1,000人/日)	()	()	()	
		実績		1,057人/日				
【参考指標】		目標	()	()	()	()	()	
		実績						
進捗状況説明		9月から3月までの実施期間中、約77,000人の集客を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	●美栄橋駅前交通広場での開催では、音楽ライブなどのイベントがなく、実施時間が21時までと制限があり、屋台村として飲酒する空間としての確立が難しく、集客が伸び悩んだ。 ●民間事業者による自立した屋台村運営の実現は、テント設営・事務局人件費・電気等に予想以上にコストがかかり、出店者・キッチンカーから出店料を徴収しても現実的に運営費を賄うことは難しいということが分かった。	●民間事業者による自立運営のためには、深夜まで運営できる実施場所、給排水設備の整った施設など、常設で運営できる仕組みが必要。
今後の取り組み方針		
当該事業の実現可能性について検証する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>21,013</td><td>21,013</td><td>16,810</td><td>4,203</td><td></td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	21,013	21,013	16,810	4,203	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
21,013	21,013	16,810	4,203											
那覇市 21,013千円 委託料 21,013千円 株式会社 宣伝 21,013千円 マチグワー屋台村企画運営に かかる委託業務														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘察した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-42 一万人エイサー踊り隊推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(4)-ウ			
担当部署名	経済観光部 なはまちなか振興課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化活動を支える基盤の形成			
					Ⅲ-1-(1)			
事業内容	伝統と文化に根差した観光誘客イベントとして、国際通りにて開催される「一万人エイサー踊り隊」事業を推進する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,320					
		(b) 予算現額	1,320					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	1,320	0				
	B. 執行済額		1,320					
	うち交付金充当額		1,056					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		・当初の計画通り執行した						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	国際通りをステージに6千人以上が出演する「一万人エイサー踊り隊」の支援	目 標	「一万人エイサー踊り隊」への支援					
		実 績	「一万人エイサー踊り隊」への支援					
		目 標						
		実 績						
	達成状況説明	・当初は、平成24年8月4日～5日の開催予定であったが、「オスプレイ配備に伴う県民大会」開催により、平成24年8月11日～12日に日程を変更し、開催した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	一万人エイサー踊り隊来場者数	目 標	（ 90,000人 ）	（ 73,000人 ）				
		実 績		73,000人				
	【参考指標】	目 標						
		実 績						
	進捗状況説明	・日程変更しての開催（「オスプレイ配備に伴う県民大会」）の為、県外からの観客や参加団体の減少、他エイサーイベントの開催等が重なり、観客が減ったと思われる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・真夏の炎天下に、実施される事業なので、観客の安全に気をつける必要がある。	・今回、ミスト機の導入や、打ち水を実行し、見た目にも涼しく良かった。次回以降も取り組む必要がある。
今後の取り組み方針		
・今後も、当該事業が国際通りの活性化へ寄与するイベントであり続けるよう協力連携を図っていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>6,650</td><td>1,320</td><td>1,056</td><td>264</td><td>5,330</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,650	1,320	1,056	264	5,330
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,650	1,320	1,056	264	5,330										
那覇市 1,320千円 → 補助金 1,320千円 → 夏祭りin那覇実行委員会 1,320千円 「一万人エイサー踊り隊」事業 運営にかかる経費の補助 (実行委員会負担分(交付対象外経費)5.330千円)														
資金の流 使途の流 点検 評価 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・補助事業者である夏祭りin那覇実行委員会は主体が那覇市国際通り商店街振興組合連合会であり、国際通りの活性化に寄与する団体であることから妥当である。 ・事業内容及び費目については報告書類等により適正であると確定した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-43	那覇まちまーい推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-エ	
担当部署名	経済観光部 観光課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	文化の発信・交流	
						Ⅲ-1-(1)	
事業内容	観光地としての魅力アップを図るため、那覇市観光協会が着地型観光メニューとして実施している「那覇まちまーい」事業を推進する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	27,586				
		(b) 予算現額	27,586				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	27,586	0			
	B. 執行済額		25,085				
	うち交付金充当額		20,068				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		90.9%				
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・着地型観光メニューとして実施している「那覇まちまーい」の実施 ・散策コースの新規企画	目 標	（ 新コース 7作成 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	新コース 7作成				
	・「那覇まちまーい」のPR活動	目 標	（ 雑誌・観光サイトへの情報掲載 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	雑誌6・観光サイト5掲載				
達成状況説明	24年度の「那覇まちまーい」コース実施回数は、1,066回で、6,571人の参加者であった。7つの新コースを作成し、また、1日限りの限定イベントとして、沖縄都市モノレールコラボ企画「ゆいレールde那覇まちまーい」など5企画を実施した。「那覇まちまーい」のPRとして、「沖縄グラフィ」「沖縄・離島情報」等の6雑誌に記事を掲載し、「楽天トラベル」等の5観光サイトへ広告を掲載した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	「那覇まちまーい」の参加者数	目 標	（ 6,132人 ）	（ 6,200人 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		6,571人			
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	新たなコースの作成や、イベント企画、また、PR活動の成果により目標を371人、上回った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	2年目を迎え那覇まちま〜いの認知度が上がってきているが、まだまだ県内の参加を増やす必要がある。 個人旅行者、旅行会社、宿泊施設からのニーズに応えきれていない。 大通りに面している通りから少し込み入った路地に入った隠れ家的店舗に興味を示す人が増えた。	コース内容を見直し、魅力あるコースにする必要がある。 修学旅行等の団体客を増やし、参加者増につなげる。
今後の取り組み方針		
主催者の那覇市観光協会が、修学旅行をはじめとする団体客の増加のため、旅行会社等への取組みを行ったり、県内・県外参加者の増加のため、継続的な県内外へのプロモーションを実施することへの支援を行う。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>31,657</td><td>25,085</td><td>20,068</td><td>5,017</td><td>6,572</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	31,657	25,085	20,068	5,017	6,572
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
31,657	25,085	20,068	5,017	6,572										
那覇市 25,085千円 補助金 25,085千円 那覇市観光協会 25,085千円 「那覇まちま〜い」事業に係る経費の補助 協会負担分(交付対象外経費)6,572千円														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○「那覇まちま〜い」を実施する那覇市観光協会へ補助金を交付した。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-44	「なはの日」ウチナーグチ再発見イベント			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)		
担当部署名	市民文化部	まちづくり協働推進課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光地らしさとウチナーグチの普及啓発による観光都市としての魅力を高めるため、「なはの日」に合わせてイベントを開催する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,000					
		(b) 予算現額	2,000					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	2,000	0				
	B. 執行済額		2,000					
	うち交付金充当額		1,600					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	「なはの日」に合わせてイベントを展開	目標	(イベントの実施)	()	()	()		
		実績	イベントの実施					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	那覇市と、那覇市協働大使(※)を中心に構成される市民組織「那覇市協働によるまちづくり推進協議会」の共催で、事業を実施。 那覇市協働大使の多様性や、繋がりを活かし、幅広い年齢層や、商店街等を巻き込みながらイベントを開催することで、中心市街地の活性化及び活気ある観光都市としての魅力の向上に寄与した。 (※)那覇市協働大使とは、地域活動やボランティア活動等、協働によるまちづくりを実践している方に対して、これまでの活動に敬意を表し、那覇市が大使として委嘱をしている方々のこと。約500名の協働大使が、各分野や市内各地で活躍している。(平成25年4月末日現在)							
成果目標(指標)及び進捗状況			基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	「なはの日」関連イベント会場への来場者数	目標	(0)	(2,000人)	()	()	()	
		実績		3,200人				
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()	
		実績						
	進捗状況説明	観光分野や、文化分野のみならず、多様な分野及び市内各地で広域的に活躍する那覇市協働大使が、当該事業に関わることにより、効果的な広報活動を展開した結果、目標値を上回る来場者に対して、ウチナーグチの普及啓発を行うことができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	ウチナーグチの普及啓発を図る上で、イベントの開催による単発的なものだけでなく、別途、持続性の期待できる取組との組み合わせが、肝要と考える。	ウチナーグチの普及をさらに推進する上で、公的機関における普及促進に係る取組のほか、教育機関や地域等と連携した、持続可能な取組を実施することで、より大きな効果が期待できるものとする。
今後の取り組み方針 「那覇市協働によるまちづくり推進協議会」に対し、同会の会合や事業の場でウチナーグチを取り入れるほか、協働大使の所属する団体等で実施するウチナーグチの普及を目的とした取組に、協働大使が積極的に参加するよう呼びかけを行うこと等を通して、持続性のあるウチナーグチの普及啓発に努めるよう促したい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>2,000</td><td>2,000</td><td>1,600</td><td>400</td><td></td></tr> </table> 那覇市 2,000千円 委託料 2,000千円 那覇市協働によるまちづくり推進協議会 2,000千円 【「なはの日」ウチナーグチ再発見イベントの実施に係る委託業務】					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,000	2,000	1,600	400	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,000	2,000	1,600	400											
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○効果的な広報及び普及啓発を行うという観点から、本市と、多様な分野で活躍する那覇市協働大使が、協働で事業を実施することは、目標を達成する上で、妥当であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途の、事業目的達成上の必要性について、実績報告書における支出等に関する書類を確認した結果、適正であった。											

市町村名	那覇市							
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1ー45「JAZZ Night in 那覇」事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(5)－ア		
担当部課名	経済観光部 観光課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化資源を活用したまちづくり Ⅲ－1－(1)			
事業内容	観光都市として来客者の満足度を高めるため、沖縄独特の「沖縄ジャズ」の魅力に満ちた「JAZZ Night in 那覇」イベントを実施する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,173					
		(b) 予算現額	7,173					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	－					
		A. 計 (b+d)	7,173	0				
	B. 執行済額		7,158					
	うち交付金充当額		5,726					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		99.8%					
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	・市内の各スポットで「JAZZ Night in 那覇」と銘打ったJAZZイベントを実施 ・JAZZを観光資源としたナイトエンターテインメントのPR	目 標	(JAZZイベント実施)	()	()	()		
		実 績	JAZZイベント実施					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	H24年12月～3月の間に、さいおんスクエア、とまりん、パレット久茂地前、てんぶす那覇前、セルラースタジアム等で全28回のジャズライブを実施。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	JAZZイベント来場者数	目 標	()	(2,400人)	()	()	()	
		実 績		2,985人				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	さいおんスクエア、とまりん、パレット久茂地前、てんぶす那覇前、セルラースタジアム等で全28回のジャズライブを実施。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・広報活動が弱く市民や、観光客への周知度が低かった。	・モノレール各駅やホテルへのチラシの配布や、パブリシティーを利用した広報活動の強化を図る。 ・シニア層のリピーターが多く、反響はよかったが、今後は、他のイベントとコラボして事業を盛り上げ、ライブ後にライブハウスへ行ったり、周りの飲食店などへの賑わいを創出する工夫が必要である。
今後の取り組み方針		
・平成25年度は全50回のジャズライブの開催を予定しており、国際通りを中心にイベントの半数を行い、国際通りで行われる他のイベントと一緒に組み合わせて集客を図り、毎週、国際通りのどこかではジャズライブを行っているという定着を図る。 ・モノレール各駅やホテルへのチラシ配布や、パブリシティーを利用した広報活動の強化を図る。		

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-46	歴史博物館企画展事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)		
担当部課名	市民文化部 文化財課 (※平成24年度中/市民文化部 博物館)	事業実施(予定)年度	平成24年度～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	那覇市歴史博物館を観光施設としてグレードアップさせるとともに、観光集客につなげられるよう歴史文化に関する企画展を開催する。							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	619					
		(b) 予算現額	619					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	619	0				
	B. 執行済額		500					
	うち交付金充当額		400					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		80.8%					
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。不要額が119千円発生しているが、委託費の契約残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	企画展開催	目 標	(6回)	()	()	()		
		実 績	6回					
	企画展広報	目 標	(6回)	()	()	()		
		実 績	6回					
	達成状況説明	設定テーマに基づき「那覇」や「沖縄」の歴史資料の企画展示を年6回開催し、企画展の内容を充実させるため他の博物館や個人より貴重な資料を借用した。また、教育普及、啓発を目的とし企画展のテーマに合わせたギャラリートークを開催した。博物館の誘客をはかるためポスター・チラシを作成し広報を行なった。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (26年度)	
	歴史博物館来場者数	目 標	(14,746人)	(14,000人)	()	()	(16,300人)	
		実 績		16,950人				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	琉球・沖縄の歴史・文化を企画テーマごとに分かり易く解説・展示を行なったり、企画展のテーマに合わせたギャラリートークを開催したことにより来場者数の目標を上回った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	企画展の内容を充実させるとともに、広く市民・県民・観光客へ広報する必要がある。	企画展の内容はもとより、広報に力をいれて、更なる入館者増を目指す必要がある。
今後の取り組み方針		
平成24年度に引き続き、平成25年度も様々な企画展を開催していく。 沖縄都市モノレールの車内や主要駅に企画展ポスターを掲示し、あるいは、テレビ、新聞等のマスコミ各社にプレスリリースを行うなど企画展の広報案内強化に取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金
	500	500	400	100
那覇市 500千円 500千円 104千円 借用資料の梱包運搬にかかる業務委託 143千円 借用資料の梱包運搬にかかる業務委託 148千円 借用資料の梱包運搬にかかる業務委託 105千円 借用資料の梱包運搬にかかる業務委託				

資金の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、実績、専門的技術等を勘案した上で、随意契約しており、妥当であったと考えている。(地方自治法施行令第167条の2第1項1号に基づく) ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市						
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-47	観光イベント安全確保事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	経済観光部 観光課		事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
						Ⅲ-1-(1)	
事業内容	伝統に根ざしたイベントの支援強化と、観光客の安全確保等を行うため、「那覇大綱挽まつり」「琉球王朝祭り首里」「NAHAマラソン」における雑踏警備を専門会社に委託する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,000				
		(b) 予算現額	2,000				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	－				
		A. 計 (b+d)	2,000	0			
	B. 執行済額		1,867				
	うち交付金充当額		1,493				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％） (B/A)		93.4%				
予算の状況の説明		那覇大綱挽まつり警備委託料に1,566,810円、琉球王朝祭り首里警備委託料に300,195円使用し、132,995円の残額となった。活動目標、成果目標を鑑みて適正だったと考える。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	那覇大綱挽まつり等における雑踏警備の強化	目 標	（ 警備委託による雑踏警備強化（3イベント） ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	警備委託による雑踏警備強化（2イベント）				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
達成状況説明	那覇大綱挽まつりにおいては、市民演芸パレード時の雑踏警備・交通誘導等に計63名、大綱挽時の雑踏警備・交通誘導等に計83名の警備員を動員し、警備の強化に努めた。琉球王朝まつり首里においては、26名の警備員を動員し、警備の強化に努めた。 そのため、両まつりとも事故等もなく無事に終了した。 NAHAマラソンにおいては、予算残額が小額だったため、警備委託は行えなかった。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値 （23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値 （ 年度 ）
	那覇大綱挽まつり来場者数	目 標	（ 320,000人 ）	（ 400,000人 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		400,000人			
	琉球王朝祭り首里来場者数	目 標	（ 55,000人 ）	（ 56,000人 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		58,000人			
	進捗状況説明	ディズニーパレードとミスインターナショナルが市民演芸パレードに参加したこともあり、那覇大綱挽まつりは23年度より来場者数が大幅に増加したが、警備委託業者が臨機応変に対応し、安全性の高いまつりが実施できた。目標来場者数も達成できた。 琉球王朝祭り首里は天候にも恵まれたため、多くの観客が来場し、目標来場者数を達成できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	那覇大綱挽まつり市民演芸パレードにおいて、ディズニーパレード出演時に多くの観客が殺到し、身動きがとれない程混雑した場所があった。そのような場所においては、観客の安全確保のため、警備員による観客の誘導が必要であったが、観客数が想定外であったため警備員の配置対応が遅れた。	警備員を必要な場所に必要数配置できるよう、各まつり・イベントの集客率を予想し、まつり前には警備会社と打ち合わせを重ねる。
今後の取り組み方針		
警備員を必要な場所に必要数配置できるよう、各まつり・イベントの集客率を予想し、まつり前には警備会社と打ち合わせを重ねる。		

資金の流れ						
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
		1,867	1,867	1,493	374	0
那覇市 1,867千円 委託料 1,867千円 株式会社琉球保安警備隊 1,567千円 株式会社琉球保安警備隊 300千円 那覇大綱挽まつり雑踏警備・ 交通誘導業務委託 琉球王朝祭り首里雑踏警備・ 交通誘導業務委託						
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目			評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。			○委託事業者は、指名競争入札により決定したため妥当であった。(市内での実績等を考慮し指名選定委員会により選定、その後指名業者で入札をおこなった。)	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。				
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。			○費目・使途は事業目的を達成するための警備委託に使用されたことを確認しており適切であった。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				

市町村名	那覇市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-50	県外メディア誘致観光プロモーション			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部署名	経済観光部 観光課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開		
					Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光情報の発信力を強化するため、県外テレビ番組のバラエティ・観光番組・ワイドショー等で那覇市の観光地、イベント、物産等をPRする。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	9,024				
		(b) 予算現額	9,024				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	9,024	0			
	B. 執行済額		9,024				
	うち交付金充当額		7,219				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画通りに執行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・県外テレビ番組を活用した観光都市NAHA（観光地、イベント、物産等）のPRを実施	目 標	（ PR実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	PR実施				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
達成状況説明	テレビ朝日系列全国放送（関東・関西・名古屋・福岡・北海道・青森・秋田・岩手・山形・宮城・福島・新潟・長野・山梨・静岡・石川・福井・広島・山口・愛媛・高知・香川・岡山・長崎・熊本・大分・鹿児島・沖縄の27県）の生放送番組、「朝だ！生です旅サラダ」毎週土曜8:00～9:30放送にて、 ①ラッシャー板前の生中継（2012/11/24）、 ②ゲストの旅“丘みつ子”（2013/3/9）で那覇市の特集を組み放送した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	県外テレビ番組の放映回数	目 標	（ ）	（ 2回 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		2回			
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	テレビ朝日系列全国放送の生放送番組、「朝だ！生です旅サラダ」毎週土曜8:00～9:30放送にて、 ①ラッシャー板前の生中継（2012/11/24）、②ゲストの旅“丘みつ子”（2013/3/9）で那覇市の特集を組み放送した。 ① 放映時間 約14分間（CM除く）、平均視聴率7.7％、想定視聴者数951万5737人、広告換算58,800,000円 ② 放映時間 約14分間（CM除く）、平均視聴率7.9％、想定視聴者数976万2899人、広告換算58,800,000円 上記の結果から、当初目標は概ね達成されたと考えている					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	委託業者へ放映内容について要望を出す、視聴率獲得を最優先する、テレビ会社側の承諾が得られず実現しなかった。	番組内容に那覇市の要望が反映され易いシステムを検討する。
今後の取り組み方針		
那覇市への観光誘客、滞在意欲、購買意欲を増進させるため、継続してテレビ番組による観光PRを実施する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>9,024</td><td>9,024</td><td>7,219</td><td>1,805</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	9,024	9,024	7,219	1,805	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
9,024	9,024	7,219	1,805	0										
那覇市 9,024千円 → 委託料 9,024千円 → (株)電通沖縄 9,024千円 (番組制作にかかる委託業務)														
資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-51	観光宣伝誘致強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部署名	経済観光部 観光課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開		
					Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光情報の発信力を強化するため、観光ガイドブック、マップ等を作成するとともに、宿泊客アンケートを実施して、観光地としての改善点等を点検する。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	13,704				
		(b) 予算現額	13,704				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	13,704	0			
	B. 執行済額		12,194				
	うち交付金充当額		9,755				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		89.0%				
予算の状況の説明		「沖縄国際映画祭のPR」事業において実績による執行残があり、執行率が89%となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	三ヶ国語ガイドマップの作成 観光ガイドブックの作成、県外配布 宿泊客アンケートの実施 観光統計作成 沖縄国際映画祭のPR	目標	(各指標項目の実施)	()	()	()	
		実績	各指標項目の実施				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	三ヶ国語ガイドマップ24,000部作成。 ガイドブック『Naha』20,000部作成、ガイドブック『Naha』ダイジェスト版80,000部作成。ガイドブック『那覇じゃらん』50,000部作成。 アンケートの配布・回収作業 『那覇市の観光統計～観光客の声～』冊子80部作成 沖縄国際映画祭に関するプレイベント(那覇市内会場)、広告事業、イベントにおける那覇市PR事業を実施。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	ガイドマップ配布数	目標	(-)	(20,000部)	()	()	()
		実績		20,000部			
	アンケート実施数	目標	(575件)	(250件)	()	()	()
		実績		252件			
	進捗状況説明	ガイドブック『Naha』20,000部作成(内県外配布15,000部)、ガイドブック『Naha』ダイジェスト版80,000部作成(内県外配布40,000部)。 ガイドブック『那覇じゃらん』50,000部作成(内県外配布25,000部) アンケート回答252件回収					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	ガイドマップの作成・県外配布業務においては、目標を上回る実績となったが、全般的に既に来沖した観光客を対象とした事業内容が目立つ。	観光宣伝対象をより広く捉え、これから新しく来沖する未来の観光客へのアプローチを強化するという点に、改善の余地がある。
今後の取り組み方針		
那覇市がより積極的に県外へ出向いて、PRを行うことが重要である。その具体的な方法として、市長のトップセールスや那覇市観光PR業務の委託事業について取り組み、実際に県外でのPR活動を強化していきたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金
	12,194	12,194	9,755	2,439
				交付対象外経費
				0
那覇市 12,195千円 委託料 11,373千円 印刷製本費 605千円 事務費 216千円 株式会社 エマエンタープライズ 4,935千円 株式会社 リクルート沖縄じゃらん 4,935千円 国立大学 法人琉球大学 486千円 株式会社 ワイド 1,017千円 有限会社 シーエーピーinc. 479千円 株式会社 池宮商会 126千円 消耗品費等 ガイドブック『Naha』の作成、県外配布に係る委託業務 ガイドブック『那覇じゃらん』の作成、県外配布にかかる県外配布にかかる委託業務 『那覇市の観光統計-観光客の声-』作成に係る委託業務 沖縄国際映画祭PRに係る委託業務 三ヶ国語ガイドマップの作成費用 宿泊客アンケートに係る返信用封筒の作成費用				
資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先についてはプロポーザルや見積りを取って選定しているので妥当であったと考えている。 ○予算規模や、費目・用途に関しては、当初の成果目標を大きく超えた事業もあったので、適正であったと考える。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	那覇市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-53	観光資源データベース登録事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	経済観光部 観光課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
					Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光情報の発信力を強化するため、ホームページ上に本市文化財等の観光資源紹介を作成・掲載する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	20,000				
		(b) 予算現額	20,000				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	20,000	0			
	B. 執行済額		19,992				
	うち交付金充当額		15,993				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画通りに執行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・市内の観光資源をDB化 ・観光情報サイトにDB化したデータの多言語化	目 標	(DB構築・英語化)	()	()	()	
		実 績	DB構築・英語化				
	観光資源DBの活用による観光案内の充実化	目 標	(観光案内所での活用)	()	()	()	
		実 績	25年度からの活用				
達成状況説明	平成24年度は、データベースシステムの構築とデータの英語版の作成が終了した。 システム構築及びデータ作成が3月までかかったため、観光案内所での活用、及び観光情報サイトでの公開は、平成25年度で実施する。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	・市内観光資源のデータベースシステム構築（日本語、英語）	目 標	()	(システム構築)	()	()	()
		実 績		システム構築			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	システム構築及び英語化の目標は達成したが、活用については平成25年度に取り組んで行く。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・多言語化を進めるため、今後は中国語、韓国語にも対応する必要がある。	・多言語化を進めるため、中国語、韓国語への翻訳を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
平成25年度は、中国語(繁体字・簡体字)、韓国語でも閲覧可能となるよう、翻訳を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>19,992</td><td>19,992</td><td>15,993</td><td>3,999</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	19,992	19,992	15,993	3,999	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
19,992	19,992	15,993	3,999	0										
那覇市 19,992千円 → 委託料 19,992千円 → 日本電気株式会社 沖縄支店 19,992千円 (観光資源データベースシステム構築、観光資源登録業務にかかる委託業務)														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘察した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市							
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-56	人・地球にやさしいミスト事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ		
担当部署名	企画財務部財政課 (上下水道局企画経営課)	事業実施(予定)年度	平成 2 4 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ－1－(1)			
事業内容	観光地としてのグレードアップ及び誘客効果と環境負荷低減等のため、ミスト発生器をイベントや公共施設等において実証実験を行う。							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,640					
		(b) 予算現額	4,640					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	－					
		A. 計 (b+d)	4,640	0				
	B. 執行済額		3,459					
	うち交付金充当額		2,767					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		74.5%					
予算の状況の説明		・不用額が1,007千円発生しているが、委託費等の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	・実証実験の実施	目 標	（ 実証実験実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	イベントや公共施設等で実証実験を実施					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
達成状況説明	観光振興等に資する新たなツールとして、冷却機能を有し、暑さ対策が可能な、ミスト装置を利用した実証実験をイベントや公共施設で行い、ニーズや課題等の把握を行った。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	活用方法の提案策定	目 標	（ ）	（ 提案策定 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		策定完了				
	【参考指標】 ミスト装置を設置した時のイベント等に参加した人数	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		85,000人				
	進捗状況説明	実証実験を踏まえ、今後の活用方法について、観光分野を含めた関連分野における利活用を提案した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	1. 実証実験のアンケート結果によるとミストの認知度は5割弱で、十分な認知にはない。 2. 天候や散布時間、散布場所によって、効果に違いがあり、散布方法に留意する必要がある。 3. 暑さ対策として使用期間が限定されるため、冬場等の使用できない期間での活用検討。 4. 設置付近では冷却効果が見られたが、具体的な環境負荷低減効果が難しい。 5. 事業化に向けては、使用目的に応じたインセンティブが働く企画立案の策定等が求められる。	1. 認知度の向上として、継続したミストの活用。 2. 効果的な設置場所や運用の検討。 3. 冷却効果とは別に、イメージアップ効果の活用検討。 4. 環境施策としてどのような役割が果たせるかの検討。 5. 有効な施策実施に向けて、その事業に応じた体制づくりが重要。
今後の取り組み方針		
屋外の暑さ対策において、ミストの利用は有効であると実証実験等を通して確認できた。また、その活用としては、観光、地域活性、環境、健康、サービス向上及び水道の有効利用など幅広い施策での活用が期待できる。しかしながら、ミストの活用による効果が十分に理解されている状況とは言いがたいため、多様な分野での活用を通じた、周知活動が今後は重要である。また、各施策におけるミストの活用効果は、ミスト単独では限りがあり、他の施策と組み合わせることや事業間での連携を進めることで、効果的な施策へと展開できるとともに導入に向けたインセンティブを高めることになる。このため、関係機関と連携を行いつつ、ミスト装置(移動式2台)を活用して認知度の向上等を継続して取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金
	3,459	3,459	2,767	692
那覇市 那覇市 2,767千円 (一般会計) 負担金 上下水道局 3,459千円 ※3,633千円 (消費税込み) 委託料 3,100千円 ※3,255千円(消費税込み) 真南風(株) 3,100千円 ※3,255千円(消費税込み) 備品購入費 359千円 ※378千円(消費税込み) (株)国際重機 359千円 ※378千円(消費税込み) ミスト実証実験の業務委託 ミスト器具の購入				
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○交付金交付要綱に沿った事業であり、負担金支出は妥当である。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○委託事業者は契約事務規程等に基づいた選定しており、妥当であったと考えている。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-59	びんがた体験型観光施設基本構想調査事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ウ		
担当部署名	経済観光部 商工農水課	事業実施（予定）年度	平成24年度～		沖縄振興基本方針該当箇所	文化活動を支える基盤の形成		
						Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光都市としてのグレードアップを図るため、伝統工芸品である琉球びんがたを活かした体験型観光施設の整備に向けた基本構想を策定する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,401					
		(b) 予算現額	4,401					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	4,401	0				
	B. 執行済額		4,401					
	うち交付金充当額		3,520					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		計画通りに執行した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	びんがた体験型観光施設の基本構想の策定	目標	（基本構想の策定）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実績	基本構想の策定					
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実績						
達成状況説明	びんがた体験型観光施設の建設に向けて、びんがたの現状調査・施設機能の検討・事業手法の検討・概算事業費と建設スケジュールの案の作成等、基本構想の策定を行った。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	びんがた体験型観光施設の基本構想の策定	目標	（ ）	（基本構想の策定）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績		基本構想の策定				
	【参考指標】	目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績						
	進捗状況説明	今後の展開方針 H25年度：基本計画の策定 H26年度：実施計画 H27年度：施設整備						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	施設機能を検討した結果、共同作業所としての機能を重視する事となった。施設を建設する場所の候補地や、必要な面積を概算で算出したが、建設地の決定にまでは至っていない。 事業手法について、関係機関との調整が必要。	施設規模が大きいと運営費等も高むので、必要な機能だけを備えたコンパクトな施設を検討。 建設地が決定しないと、事業が進捗しない。 事業手法について、受益者負担も考慮して関係機関と協議しなければならない。
今後の取り組み方針		
施設の運営費も考慮し、最低限必要な機能だけ備えたコンパクトな施設とする。 早急に建設地を決定する。 関係機関と協議して、事業手法を決定する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
那覇市 4,401千 委託料 4,401千円 (株)国建 4,401千円 びんがたの現状調査 施設機能の検討 事業手法の検討 概算事業費と建設スケジュール等				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,401	4,401	3,520	881	0
資金の流 使途の流 点検 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-60	壺屋地区まちづくり総合計画推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ア		
担当部課名	都市計画部 都市計画課	事業実施（予定）年度	平成24	沖縄振興基本方針該当箇所	文化産業の戦略的な創出・育成			
事業内容	観光都市としての景観・美観の創出のため、「やちむんの里」壺屋において、陶器関連産業再生のための調査と沖縄らしい美しい街並みの再生・創出に向けた総合的なまちづくりのための調査を実施する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,423					
		(b) 予算現額	6,423					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	6,423	0				
	B. 執行済額		6,090					
	うち交付金充当額		4,872					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		94.8%					
予算の状況の説明		・不用額333千円発生しているが、主たる要因は業務委託費の入札残によるもので、当初計画していた事業内容はすべて実施した。活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正な執行であったと考える。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度	
	壺屋地域整備計画案の策定	目標	（整備計画案策定）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	整備計画案策定					
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績						
達成状況説明	地域整備計画案を策定した。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	壺屋地域整備計画案の策定	目標	（ — ）	（整備計画案策定）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績		整備計画案策定				
	【参考指標】	目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績						
	進捗状況説明	地域整備計画案を策定した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	現在、壺屋地区の都市基盤は狭小道路が多く改善が望まれるが、未整備の狭小道路等が、往時の風景を醸しだし壺屋地区の魅力となっている。都市基盤の整備事業に当たって景観に配慮し、地域と関係機関との協議を行いながら整備を進める必要がある。また、壺屋地区には、新たな陶器工房は原則建築できないことより、地区内の陶器産業の再生にあたっては特別用途地区の指定などにより地区内の陶器関連産業の工房が建築できるようにする必要がある。	狭小道路等の都市基盤整備に当たっては、地域の要望と景観向上の他に交通及び防災機能を確保しなければならないことから、整備に向けて今後関係機関等と綿密な協議を行い、詳細な計画を作成する必要がある。また、陶器関連工房の施設整備に当たっては、周囲の住環境を保護する必要があることから、地区内に陶器関連施設を設置する場合は、作業場の規模や防音対策等の条件整備をする必要がある。
今後の取り組み方針		
今後、陶器関連事業の再生に向けて、特別用途地区の指定や条例等の制定と、細街路などの地区施設の整備に向けて地域住民や関係機関と調整を行っていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>6,090</td><td>6,090</td><td>4,872</td><td>1,218</td><td></td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,090	6,090	4,872	1,218	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,090	6,090	4,872	1,218											
那覇市 6,090千円 委託料 6,090千円 → (株)都市科学政策研究所 6,090千円 〔壺屋地区まちづくり総合計画案 策定にかかる委託業務〕														
資金の 使途の 流れ、 点検 ・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○過去に整備計画等の策定業務の実績のある委託業者10業者による指名競争入札にて選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-62 新垣家住宅登録保存活用計画策定事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)			
担当部課名	市民文化部 文化財課 (※平成24年度中／生涯学習部文化財課)		事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光都市としてのグレードアップを図るため、本市伝統工芸の郷・壺屋地区の新垣家住宅登録をシンボルとして保存活用するための計画を策定する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,730					
		(b) 予算現額	2,730					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	2,730	0				
	B. 執行済額		2,361					
	うち交付金充当額							
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		86.5%					
予算の状況の説明		委託業務内容に変更（保存活用計画部会の謝金が必要）が生じたため、369千円の減額となった。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	登録の保存管理・環境保全・防災・活用等の計画策定	目 標	(計画査定)	()	()	()		
		実 績	目標達成					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	国指定重要文化財新垣家住宅の登録を文化財として保存活用する指針として作成し、文化財の保存、周辺環境の保全、防災の点を踏まえ、登録の継続的な保存活用を行う計画を策定した。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	登録の保存管理・環境保全・防災・活用等の計画策定	目 標	()	左記成果目標のとおり	()	()	()	
		実 績		目標達成				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	委託期間内に策定できた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	登窯の現状と課題を把握し、保存・活用を図るために必要な事項や範囲を明らかにして、保存と活用に向けた計画を策定	登り窯の保存・活用に向け、具体的な作業を検討する。
今後の取り組み方針		
登窯を焼ける窯として活用するためには、地域住民の合意形成、地域の陶器組合関係者および壺屋やちむん通り会などの組織づくりが必要となる。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>2,361</td><td>2,361</td><td>1,888</td><td>473</td><td></td></tr> </table> 那覇市 2,361千円 委託料 2,361千円 株式会社国建 2,361千円 ・保存管理計画 ・環境保全計画 ・防災計画 ・活用計画					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,361	2,361	1,888	473	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,361	2,361	1,888	473											
資金の流 使途の点 検・費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○地方自治法施行令167条第1項第2号の規定に基づき実施したが、入札不調が生じたため、地方自治法施行令第167条の2第1項第8号により随意契約とした。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-① 市魚マグロ等水産物流通支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-イ		
担当部署名	経済観光部 商工農水課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	流通・販売・加工対策の強化		
					Ⅲ-1-(6)		
事業内容	マグロを中心とする近海漁業の振興のため、市魚であるマグロの解体ショーなど、水産物の流通と観光的観点を絡めたイベント等の開催や流通設備の整備を行う。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	64,806				
		(b) 予算現額	64,806				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	64,806	0			
	B. 執行済額		64,140				
	うち交付金充当額		51,311				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		99.0%				
予算の状況の説明		各種イベントへの助成や流通設備の整備等を行った。ほぼ計画通りに執行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・マグロ解体ショーの実施 ・マグロ料理選手権の開催 ・マグロ鍋料理選手権 ・冷凍冷蔵庫の新規導入 ・PR用DVD製作、大型TV設置、大型看板設置 ・まぐろPRテレビ特番 ・市魚マグロPR委託事業	目 標	（ 各指標項目の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	各指標項目の実施				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
	達成状況説明	予定していた活動目標はすべて予定どおり終了した。					
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	市魚マグロ等イベント開催回数	目 標	（ ）	（ 3回 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		5回			
	市魚マグロ等イベント来場者数	目 標	（ ）	（ 20,000人 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		20000人以上			
	進捗状況説明	来場者の実績として、1日限りで行われた「泊いゆまち勤労感謝祭」は9,100人、「まぐろ都市那覇・ピンチョウまぐろ販売促進イベント沖縄美ら海まぐろフェア」は8,400人の来場者となっているが、泊いゆまち内にてのまぐろ解体ショーは約3ヶ月で120回行われており、相当数の来場者があった。また、テレビ特番によるイベントでは、放映が土曜日の午後の時間に放映されたため、大きな反響がありPR効果は非常に大きかった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	事業執行までの準備期間が短く、業務執行が後手になり、イベント内容等の検討が難しい状況となった。	迅速な対応による十分な事業内容の検討が必要と思われる。また、泊いゆまちだけでなく、市内の飲食店協会等によるまぐろPRイベントも開催可能ならば、さらに市の魚まぐろの周知効果があると思われる。
今後の取り組み方針		
沖縄鮮魚卸流通協同組合だけでなく、漁協や飲食店組合等広くまぐろのイベントが可能か検討したい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
那覇市 64, 140千円 委託料10, 478千円 補助金53, 662千円 錦屋旗店株式会社499千円 市の魚「マグロ」のぼり製作にかかる業務委託 業務委託代表者沖縄鮮魚卸流通協同組合 9, 979千円 量販店においてのマグロ刺身試食会及びホテルでのマグロ料理の提供によるPR業務委託 沖縄鮮魚卸流通協同組合 3, 093千円 泊いゆまち内でのマグロ解体ショーに係る経費に対する補助(協同組合負担分(交付対象外経費 773千円)) 沖縄鮮魚卸流通協同組合 2, 804千円 勤労感謝祭イベントの経費に対する補助(協同組合負担分(交付対象外経費711千円)) 沖縄鮮魚卸流通協同組合 5, 087千円 まぐろ都市那覇・ピンチョウまぐろ販売促進イベント沖縄美ら海まぐろフェアーイベント経費に対する補助(協同組合負担分(交付対象外経費1, 272千円)) 沖縄鮮魚卸流通協同組合 29, 106千円 泊セリ市場改修工事に伴うプレハブ冷蔵庫新規設置の経費に対する補助(協同組合負担分(交付対象外経費 3, 234千円)) 沖縄鮮魚卸流通協同組合 6, 400千円 まぐろPRテレビ特番ガチ対決まぐろ王決定戦イベント番組に対する補助(協同組合負担分(交付対象外経費 1, 600千円)) 沖縄鮮魚卸流通協同組合 7, 172千円 泊いゆまちまぐろPR用DVD作製、PR用イメージソング作製及び大型TV、音響設備、大型看板設置の経費に対する補助(協同組合負担分(交付対象外経費 796千円))				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
72,526	64,140	51,311	12,829	8,386
資金の流 使途の点検 評価・費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	水産物流通支援事業補助金交付要綱により適正に支出している。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-② 中層浮漁礁設置強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(7)-カ			
担当部署名	経済観光部 商工農水課		事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(6)		
事業内容	本市の漁業振興を図るため、沖縄独特のマグロ漁法である浮漁礁設置に対して補助を行う。船舶の航行に支障がなく耐久性に優れた中層浮漁礁を設置し、市魚マグロを中心とする水産業の振興を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	30,000					
		(b) 予算現額	30,000					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	30,000	0				
	B. 執行済額		29,468					
	うち交付金充当額		23,574					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		98.2%					
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	中層浮漁礁2基の新規設置	目 標	（ 2基設置 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	2基設置					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
	達成状況説明	平成24年12月20日に糸満沖約50km北緯25度41分東経127度9分に1基、北緯25度43分東経127度11分に1基の合計2基を水深1200mに設置した。						
	成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
中層浮漁礁2基の新規設置		目 標	（ ）	（ 2基設置 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		2基設置				
【参考指標】		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
進捗状況説明		平成24年12月20日に糸満沖約50km北緯25度41分東経127度9分に1基、北緯25度43分東経127度11分に1基の合計2基を水深1200mに設置した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	耐用年数が10年と言われているが、どの程度の年数使用出来るか不明である。	表層浮漁礁に比べ1基あたり10倍以上の費用がかかっているため、その費用対効果を検証する必要がある。
今後の取り組み方針		
費用対効果を検証するため、次年度の設置は見送り、漁獲高の動向を注視したい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>30,230</td><td>29,468</td><td>23,574</td><td>5,894</td><td>762</td></tr> </table> 那覇市 29,468円 補助金 29,468円 ↓ 浮漁礁設置事業代表者 那覇市沿岸漁業協同組合(那覇市沿岸漁業協同組合、那覇地区漁業協同組合、沖縄県近海鮪漁業協同組合の3者) 29,468千円 漁協負担額(交付対象外経費 762千円)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	30,230	29,468	23,574	5,894	762
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
30,230	29,468	23,574	5,894	762										
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	支出先は市内の3漁協で構成する浮漁礁設置事業代表者となっており、従来からの唯一の補助対象者である。受益者負担額は従来設置の表層浮漁礁設置分と同程度の受益者負担額とした。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-③ 那覇市沿岸漁協施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(7)-カ			
担当部署名	経済観光部 商工農水課		事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(6)		
事業内容	本市産業の振興発展を図るため、那覇市沿岸漁協施設の整備に対して補助を行い、水産業の振興を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	2,395					
		(b)予算現額	2,395					
		(c)増減額(b-a)	0					
		(d)前年度繰越額	—					
		A.計(b+d)	2,395	0				
	B.執行済額		2,394					
	うち交付金充当額		1,915					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		計画通りに執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	泊船揚場の台車1台及びレール改修台数1カ所	目 標	(施設整備)	()	()	()		
		実 績	施設整備済					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	平成25年1月15日漁船上架用台車及びレール整備済み。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	泊船揚場の台車1台及びレール改修台数1カ所	目 標	(-)	(施設整備)	()	()	()	
		実 績		施設整備済				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	平成25年1月15日漁船上架用台車及びレール整備済み。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	漁業関係施設や機器等は常に塩害等にさらされ老朽化が著しく、作業環境の安全面からも早めの対策が必要と思われる。	老朽化した状態にある漁業関係施設の予防整備を行う漁協に対し、引き続き助成等支援を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
漁業関係施設や機器等の整備を行う漁協を支援することにより、漁業者の安全操業、経営の安定化及び生産意欲の向上になり水産業の振興に繋がるため、今後も積極的に支援を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
那覇市 2,394千円 補助金 2,394千円 那覇市沿岸漁業協同組合 2,394千円 漁協負担分(交付対象外経費 599千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>2,993</td><td>2,394</td><td>1,915</td><td>479</td><td>599</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,993	2,394	1,915	479	599
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,993	2,394	1,915	479	599										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	那覇市水産業振興整備対策事業補助金交付要綱に基づき適正に支出している。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-④ 泊セリ市場環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(7)-カ		
担当部署名	経済観光部 商工農水課		事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(6)	
事業内容	本市産業の振興発展を図るため、泊セリ市場の改修に対する補助を行い、水産業の振興と合わせて観光拠点化についても考慮した取り組みを行う。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	8,825				
		(b) 予算現額	8,825				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	8,825	0			
	B. 執行済額		8,825				
	うち交付金充当額		7,060				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画通りに執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	泊セリ市場の壁面、階段及びトイレ改修	目標	(施設整備)	()	()	()	
		実績	施設整備済				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	平成25年1月18日泊セリ市場施設改修工事済み。(外壁改修、H鋼柱及びH鋼天井梁改修、階段2箇所改修、トイレ改修、シャッター改修)						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	泊セリ市場の壁面、階段及びトイレ改修	目標	(-)	(施設整備)	()	()	()
		実績		施設整備済			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	平成25年1月18日泊セリ市場施設改修工事済み。(外壁改修、H鋼柱及びH鋼天井梁改修、階段2箇所改修、トイレ改修、シャッター改修)					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	泊セリ市場は築30年が経過し老朽化が著しい。今回は一部の改修工事に対し助成を行ったが、施設の老朽化改修のほかトイレ改修等衛生面の向上も図られた。	施設の老朽化が著しい未改修部分への支援と、セリ市場は生鮮魚介類を取り扱うため、今後も施設の衛生面の向上を図る等の改修に対し支援を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
漁業関係施設整備を行う漁協を支援することにより、施設の安全管理及び衛生管理の向上に繋がるため、今後も積極的に支援を行いたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
那覇市 8,825千円 補助金 8,825千円 那覇地区漁業協同組合 8,825千円 漁協負担分(交付対象外経費 3,075千円)														
		<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>11,900</td><td>8,825</td><td>7,060</td><td>1,765</td><td>3,075</td></tr> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	11,900	8,825	7,060	1,765	3,075		
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
11,900	8,825	7,060	1,765	3,075										
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	那覇市水産業振興整備対策事業補助金交付要綱に基づき適正に支出している。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												